

# 運転管理業務仕様書

## 適用業務

業務名 : 令和7～11年度下水道処理施設運転管理業務（上伊那・富士見広域）

履行場所 : 伊那浄水管理センター ほか16処理場

公益財団法人長野県下水道公社

# 業 務 委 託 共 通 仕 様 書

## 第1章 総則

### (目的)

第1条 本仕様書は、公益財団法人長野県下水道公社（以下「甲」という。）が公共下水道終末処理場（以下「終末処理場」という。）及び関連施設の運転管理業務を円滑に行い、施設の機能を十分発揮し、維持管理の適正な運営を図るため、運転管理業務委託に関わる仕様を定めるものとする。

### (業務の履行)

第2条 終末処理場等施設の運転管理業務受託者（以下「乙」という。）は、本仕様書によるほか、契約書、業務委託特記仕様書、その他関係書類等に基づき、誠実に効率的かつ安全に業務を履行しなければならない。

### (法令上の責任)

第3条 乙は、労働基準法（昭和22年法律第49号）、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）、労働者災害補償保険法（昭和22年法律第50号）及びその他関係法令上のすべての責任を負うものとする。

### (終末処理場の管理体制)

第4条 乙は、業務の公共的使命が重要であることを念頭におき、常に業務に支障をきたすことのないように管理体制を整えなければならない。

### (善管注意義務)

第5条 乙は、この契約の履行に当たっては、常に善良なる管理者の注意をもって維持、保全及び運営しなければならない。

### (関連業務の調整)

第6条 甲は、乙が履行する業務と第三者の施工する他の工事等が運転管理上密接に関連する場合には、その運転管理について調整を行うものとする。この場合において、乙は甲の調整に従い第三者の行う工事等の円滑な施工に協力しなければならない。

### (業務の内容)

第7条 業務の主な内容は、次のとおりとする。

#### (1) 終末処理場

- ア 各種機器の運転操作及び監視
- イ 点検記録、管理日報、月報等の作成
- ウ 各種機器の日常点検、定期点検、臨時点検及び精密点検並びに調整及び整備
- エ 故障等非常通報時の対応
- オ 簡易な修理造作
- カ 維持管理業務に必要な水質試験（採水補助、検体搬入及び汚泥試験を含む。）
- キ 行政機関の立入検査時の採水及び水質検査（クロスチェック）
- ク 貸与施設備品等の管理
- ケ 処理場内の維持管理に必要な範囲の除雪
- コ 廃棄物の処理（指定された廃棄物処理業者へ引渡し前の業務）

サ その他業務上必要な諸作業

(2) その他業務委託特記仕様書で定める施設に関わる業務の内容

(組織)

第8条 乙は、業務に必要な職階の従事者を配置し、職務分担を決め、その組織表を甲に届け出なければならない。また、変更した場合も同様とする。

2 職階の基準は、別表1に示すとおりとする。

(監督員)

第9条 甲は、監督員を定めたときは、書面をもってその氏名を乙に通知しなければならない。また、監督員を変更したときも同様とする。

2 監督員は、この契約の他の条項に定めるもの及びこの契約に基づく甲の権限とされる事項のうち甲が必要と認めて監督員に委任したもののほか、仕様書等で定める次の権限を有する。

(1) 契約の履行についての乙又は乙の現場代理人に対する指示、承諾及び協議

(2) 業務の遂行のため乙が作成した資料、報告等の承諾

(3) 業務委託共通仕様書及び業務委託特記仕様書に基づく業務内容の確認、立会い及び業務の実施状況の検査

3 前項の規定による監督員の指示、承諾及び協議は、原則として、書面をもってこれを行うものとする。

(総括責任者)

第10条 乙は、総括責任者を定め、書面をもってその氏名を甲に通知しなければならない。また、総括責任者を変更したときも同様とする。

2 総括責任者は、この契約に関し、その運営及び取り締まりを行うほか、この契約に基づく一切の権限（契約金額の変更、契約金額の請求及び受領並びにこの契約の解除に関わるものを除く。）を行使することができる。

3 総括責任者の職務は、次に示すとおりとする。

(1) 現場の最高責任者として従事者の指揮及び監督を行うこと。

(2) 監督員と常に密接な連絡をとり、業務の適正かつ円滑な遂行を図ること。

(3) 契約書、仕様書、完成図書及びその他関係書類により、業務の目的及び内容を十分理解すること。

(4) 日常の業務執行状況を随時甲に報告するとともに、必要な協議を行うこと。

(5) 完成図書から施設の機能を完全に掌握し、効率的かつ経済的な運用を図ること。

(6) 従事者の現場研修を行い、技術の向上及び事故の防止に努めること。

(7) 設備及び管理状況を常に的確に把握し、いかなる場合においても対処できる体制を整えること。

(8) 常駐管理の処理場においては、現場に常駐すること。

(副総括責任者の指定)

第11条 乙は、総括責任者の代務者として副総括責任者をあらかじめ指定し、甲に届け出なければならない。また、副総括責任者を変更したときも同様とする。

2 副総括責任者は、総括責任者不在のときは、総括責任者に代わって忠実にその職務を行わなければならない。

(有資格者の配置)

第12条 乙は、契約の履行に必要とする有資格者を配置しなければならない。

2 前項の規定による有資格者の配置は、所定の手続きにより甲に報告しなければならない。また、有資格者を変更したときも同様とする。

- 3 有資格者の基準は、別表2に示すとおりとする。
- 4 作業に当たっては、下水道法、労働安全衛生法、消防法その他関係法令に従って有資格者により作業を行うものとする。

(従事者の届出)

第13条 乙は、あらかじめ業務に従事する従事者届を甲に提出しなければならない。また、変更した場合も同様とする。

(業務従事者に対する措置請求)

第14条 甲又は監督員は、総括責任者その他の業務従事者等が業務の遂行上著しく不相当と認められるときは、乙に対してその理由を明示した書面をもって、必要な措置をとるべきことを求めることができる。

- 2 乙は、前項の規定による請求があったときは、当該請求に係る事項について決定し、その請求を受理した日から10日以内に書面をもって甲に通知しなければならない。

(緊急時の勤務体制)

第15条 乙は、自然災害、火災、設備の故障、異常水質の流入等緊急事態が発生した場合又は発生することが予想され、施設の機能又は他に重大な影響を与えるおそれがある場合において、直ちにこれに対応できる体制を予め整備しておかなければならない。

- 2 前項における緊急事態が発生した場合又は発生することが予想され、施設の機能又は他に重大な影響を与えるおそれがある場合には、乙は直ちに適切な措置を講じるとともに、甲に報告しその指示に従わなければならない。

(施設の運転日及び運転時間)

第16条 施設の運転日及び運転時間は、次のとおりとする。

- (1) 水処理施設については、連続運転とする。
  - (2) 汚泥処理施設については、別に業務委託特記仕様書で定める。
- 2 勤務時間外は、緊急通報システムによる。

(安全衛生の確保)

第17条 乙は、労働安全衛生法その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全衛生管理に留意し必要な措置を講じて労働災害の防止に努めるものとする。

- 2 事故防止のために必要な安全対策は、運転管理業務実施計画書に記載するものとする。
- 3 乙は、安全管理上の問題が発生した場合には、直ちに適切な措置を講じるとともに、速やかに甲に報告しその指示に従わなければならない。

(放流水質の維持)

第18条 乙は、終末処理場からの放流水質について、下水道法第8条、水質汚濁防止法第3条第1項及び良好な生活環境の保全に関する条例第16条の排水基準に適合するよう運転管理をしなければならない。

- 2 流入水の水質悪化や施設構造上の問題等に起因し、放流水質の悪化が予測される場合には、速やかに甲に連絡し協議しなければならない。

## 第2章 業務要領

(運転管理業務実施計画書)

第19条 乙は、着手7日前までに、契約書及び仕様書に基づいて、運転管理業務実施計画書を作成し甲に提出しなければならない。

2 運転管理業務実施計画書は、次の事項について記載しなければならない。

- (1) 現場組織に関すること。  
現場組織表、業務分担表、緊急時体制表
- (2) 業務工程に関すること。  
年間業務工程表、労務計画表
- (3) 業務方法に関すること。  
業務方法
- (4) 安全管理に関すること。  
安全管理対策（労働災害防止）、安全管理組織表
- (5) 災害時の対応に関すること。
- (6) その他必要な事項

(月間業務計画書)

第20条 乙は、各月25日までに翌月の業務計画について甲と協議し、月間業務計画書を提出しなければならない。

(業務対象施設)

第21条 業務委託の対象とする主要機器設備は、別に業務委託特記仕様書に定める。

(各種機器の運転)

第22条 乙は、業務の範囲において各種機器の機能を十分理解し、月間業務計画書に沿って一切の運転操作を適正に行わなければならない。

- 2 運転操作上問題が生じた場合は、速やかに必要な措置を講ずるとともに、甲に報告するものとする。
- 3 管理上必要な措置を講ずるため、運転を停止するとき及び再開するときは、甲の承諾を得るものとする。

(点検整備)

第23条 乙は、次のとおり点検整備を行わなければならない。

- (1) 日常点検及び定期点検は、機器保全を目的として、外観及び五感による観察も重視し、異常を発見した場合には、その都度速やかに甲へ報告し、その指示に従い措置し、その経過を記録報告すること。
- (2) 日常点検及び定期点検の実施内容については、別に業務委託特記仕様書で定める。
- (3) 臨時点検は、故障警報等、機器及び設備の異常に対して状況を確認するために速やかに実施し、その結果を写真又は測定記録等添付の上甲に報告すること。
- (4) 各種機器が正常に作動するよう調整、給油、消耗部品交換、補充、清掃及び小塗装等の整備に努め、必要に応じ保護装置の確認を行うこと。

(事故故障の対応)

第24条 乙は、点検により発見した事故又は故障の不良箇所のうち、現場で修繕可能なものについては、修繕内容を甲と協議の上措置しなければならない。

ただし、緊急を要する場合は、応急措置を行うとともに甲に報告するものとする。

- 2 乙は、各種設備のうち軽易な修繕又は改良について、甲と協議の上行うものとする。

- 3 前2項については、経過及び結果を写真等により記録し報告するものとする。
- 4 簡易な修繕工事は、別表3に示すとおりとする。

(水質試験業務)

第25条 水質試験業務の実施内容については、別に業務委託特記仕様書で定める。

(廃棄物の処理)

第26条 乙は、業務を履行するに当たり生じた廃棄物を適正に処理しなければならない。ただし、沈砂、汚泥その他甲が示すものは除く。

(業務報告)

第27条 乙は、業務実績を明らかにするため、原則として運転管理日報等により報告しなければならない。また、月間業務計画、月間管理実績、点検整備、支給品使用状況及び故障事故に関する報告書並びに年間維持管理業務報告書及び甲が要求した業務の報告書を正確に遅滞なく提出しなければならない。

(提出書類)

第28条 乙は、別表4の左欄に掲げる書類を同表右欄に掲げる期限までに甲へ提出しなければならない。

(火災の防止)

第29条 乙は、各箇所用火元責任者を選任し火気の正確な取扱い及び後始末を徹底させ、火災の防止に努めなければならない。

(盗難及び事故の防止)

第30条 乙は、施錠等により、設備機器、工具備品等の盗難防止に努めるとともに、第三者の場内立入りにも十分注意し事故発生防止に努めなければならない。

- 2 乙は、契約締結後、速やかに関係官公署等に作業に必要な道路使用、交通制限の届出又は許可申請を行い、その許可を受けること。

(清掃整備)

第31条 乙は、業務範囲内の施設建物及びその周辺を常に清掃し、不要な物品等を整理しなければならない。

### 第3章 その他

#### (事務室等の使用)

第32条 乙は、業務の履行に必要な事務室、水質試験室及び浴室等（以下「事務室等」という。）を、契約期間中無償で使用できるものとする。

- 2 事務室等の使用期間中、乙の責任で汚損等があった場合は乙の負担とする。
- 3 事務室等の使用に伴う光熱水の費用は無償とするが、その使用に当たっては節約に努めなければならない。

#### (経費の負担区分)

第33条 業務の遂行に必要な経費等（直接経費に含まれる消耗品等を含む。）は、乙が負担するものとする。ただし、乙が使用する事務室に係る光熱水費並びに施設の運転管理に要する材料費、燃料費、光熱水費及び修繕に要する経費等は除く。

- 2 業務の履行に必要な事務器具、事務用品及び消耗品類は、乙の負担とする。
- 3 乙は、物品の支給を受けたとき及び使用したときはその受払いを明らかにしておかなければならない。

#### (従事者の服装等)

第34条 乙は、従事者に安全かつ清潔な統一した服装をさせ、胸に名札を着用させるとともに、対応については部外者から指摘を受けないようにしなければならない。

#### (業務の引継ぎ)

第35条 乙は、甲の業務運営に支障が生じないよう、委託契約の締結の日から乙が必要とする期間内（1ヶ月間を限度とする。）において、前の受託者から受託業務の引継ぎを受けなければならない。これに要する費用は、乙の負担とする。

- 2 乙は、後の受託者が必要とする期間内（1ヶ月間を限度とする。）において、後の受託者に対し受託業務の引継ぎを行わなければならない。これに要する費用は、後の受託者の負担とし、引継期間内に発生した障害等については、原則として乙の責とする。ただし、引継ぎに当たり後の受託者が不誠実な行為を行った場合はこの限りではない。

#### (雑則)

第36条 本仕様書に明記されていない事項であっても、運転操作上当然必要な業務等は、良識のある判断に基づいて行わなければならない。

- 2 運転等に係る資料の提出を甲が要求した場合は、速やかに応じなければならない。
- 3 乙は、甲の許可なく下水道管理者及び甲の所有物を場外に持ち出し、又は業務に必要としないものを場内に持ち込んで서는ならない。

#### (疑義)

第37条 本仕様書に疑義が生じた場合又は仕様書に定めのない事項が生じた場合は、甲乙協議の上定めるものとする。

別表1（第8条第2項関係）

職 階 の 基 準

職 種	職 種 の 基 準
総括責任者	<p>業務全体の責任者で、総括の職務に当たり管理能力がある者                      下水道処理施設管理技士資格者で、総括責任者又は副総括責任者として標準活性汚泥法の運転管理経験を2年以上有する者</p>
副総括責任者	<p>業務総括責任者を補佐及び代行ができ、管理及び高度な技術を有し、かつ各業務の責任者としての確かな判断のできる者                      下水道法施行令第15条の3に規定される資格を有する者                      標準活性汚泥法の運転管理経験を1年以上有する者</p>
作業主任者 ①保守点検作業主任者 ②水質試験作業主任者 ③汚泥脱水作業主任者	<p>各業務の責任者で、高度な知識と技術を有し、業務の専門職として主体的業務を行える、下記の要件を満たす者</p> <p>① 下水道終末処理場の設備（機械・電気）に関する保守点検作業の経験を3年以上有する者</p> <p>② 本業務と同等規模の下水道終末処理場の水質試験作業の経験を3年以上有する者</p> <p>③ 下水道終末処理場の汚泥脱水作業の経験を3年以上有する者</p>
技術員	<p>基礎的な技術を有し、保守点検業務、運転監視等の業務を遂行できる者</p>
技能員	<p>運転操作、水質分析等の作業について必要とされる技能を伴った業務が行える者</p>
その他	<p>事務補助及び清掃等の簡易な作業を行う者</p>

作業主任者、技術員、技能員及びその他の職種については、終末処理場の処理方式及び処理能力に応じ、上位の者による兼務を認める。

別表 2 (第 12 条第 3 項関係)

## 有 資 格 者 の 基 準

資格者	基 準	選任の 有無	備 考
下水道処理施設管理技士	下水道処理施設維持管理業者 登録規程 第 3 条該当者	有	総括責任者
下水道技術者	下水道法施行令 第 15 条の 3 該当者	有	副総括責任者
酸素欠乏危険作業主任者	酸素欠乏症等防止規則 第 11 条該当者 (酸素欠乏・硫化水素危険作 業主任者技能講習修了者)	有	酸素欠乏危険作業の指揮 監督等
その他契約の履行に必要な 資格			

別表3（第24条第4項関係）

## 設備の簡易な修繕工事

簡易な修繕工事は、定期点検、年次点検及び精密点検等メーカーによる点検修理時に同調して行う修繕以外で、概要を次に示す。

- (1) 流量計のセンサーの清掃及び微調整
- (2) 配管（50A）程度の仮配管及び配管替え
- (3) 塗装による簡易な修繕（概ね20㎡タッチアップ等）
- (4) 各機器の潤滑油脂の補充及び取替え
- (5) 蛍光灯、蛍光管、水銀灯ランプ、ナトリウムランプ、自動点滅器及びスイッチ（15A）程度の取替え
- (6) 小型ベアリング、ファンベルト及びVベルトの取替え
- (7) ポンプ、電動機のブレーキシユウ、ブラシの取替え
- (8) 継電器（4接点程度）、接触器（10A）、ブレーカー（50Aフレーム程度）及びタイマーの取替え
- (9) 換気扇（羽根車30cm程度）、盤機器給排気ファンの取替え
- (10) 機器乾燥機用の乾燥剤（シリカゲル）の取替え
- (11) シーケンサ及び盤の給気用フィルターの取替え及び洗浄
- (12) 水位センサーの清掃及び取替え
- (13) シーケンサの電池、火災受信機のバッテリー、親時計の電池の取替え
- (14) 計装設備と弱・強電機器の簡易な調整
- (15) バルブ（150A程度）、逆止弁（150A程度）の分解及び取替え
- (16) 簡易なシーケンス変更による配線替え
- (17) 扉の開閉調整、鍵の取替え
- (18) ケーブル（14m<sup>2</sup>程度）の取替え
- (19) 放送設備、時計の故障による配線替え
- (20) 空調機フィルターの取替え及び洗浄
- (21) ダクト等からの漏洩箇所のコーキング、パッキンの施工
- (22) その他軽微な修繕

別表 4 (第 28 条関係)

## 提出書類一覧表

書 類 名 称	提 出 期 限
着 手 届	着手日から 7 日以内
組 織 表	着手 7 日前まで
総括責任者通知書 ※経歴書及び雇用関係を証明できる書類(写し)を添付	
副総括責任者指定届 ※経歴書及び雇用関係を証明できる書類(写し)を添付	
有資格者配置届 ※資格者証(写し)を添付	
従事者届 ※作業主任者は、別表 1 の要件を示す経歴書を添付	
緊急時体制表(連絡系統を含む。)	
一部再委託承諾願(再委託する場合のみ)	
運転管理業務実施計画書 (2部)	
月間業務計画書	
業務完了届 運転状況報告書(甲が定める様式) (2部) (保守点検月報) (運転管理月報) (水質管理月報) (維持管理業務日報) (故障・修理記録) (ユーティリティ納品書) 上記書類の電子成果品	翌月 5 日まで
事故・故障報告書(設備、流入水量・水質、 放流水質等異常)	速報は随時 詳報は対応・処理後
維持管理業務協議記録	その都度
年間維持管理業務報告書 (2部) (保守点検年報) (運転管理年報) (水質管理年報) (維持管理業務年報) (故障・修理年報) (ユーティリティ納品年報) (貸与品台帳) 上記書類の電子成果品	年間業務完了後 7 日以内
そ の 他	必要の都度

# 業務委託特記仕様書

(目的)

第1条 本特記仕様書は、次の業務に適用する。

- (1) 業務名 令和7～11年度下水道処理施設運転管理業務（上伊那・富士見広域）
- (2) 履行場所 伊那浄水管理センター ほか16処理場

(業務の対象)

第2条 業務の対象は、次のとおりとする。

(1) 終末処理場

	所在地	名称
1	伊那市下新田2990	伊那浄水管理センター
1	伊那市下新田2990	伊那浄水管理センター
2	伊那市西春近2790	小出島浄化センター
3	伊那市西箕輪7315	大萱浄化センター
4	伊那市東春近6309-1	殿島浄化センター
5	伊那市高遠町下山田507	高遠浄化センター
6	駒ヶ根市下平4569	駒ヶ根浄化センター
7	上伊那郡辰野町大字伊那富2361	辰野水処理センター
8	上伊那郡辰野町大字小野4961	小野水処理センター
9	上伊那郡箕輪町大字三日町835-3	箕輪浄水苑
10	上伊那郡飯島町飯島380-1	飯島浄化センター
11	上伊那郡飯島町七久保1032-34	七久保浄化センター
12	上伊那郡南箕輪村6259-1	南箕輪浄化センター
13	上伊那郡中川村大草3773-4	大草浄化センター
14	上伊那郡中川村片桐595	片桐浄化センター
15	上伊那郡宮田村6879	宮田アクアランド
16	諏訪郡富士見町落合8202-22	富士見処理場
17	諏訪郡富士見町落合1322-1	境処理場

(2) 中継ポンプ場

	所在地	名称
1	伊那市西町5154-3	西町ポンプ場
2	伊那市山寺1956-12	山寺ポンプ場
3	上伊那郡辰野町大字辰野1729-8	辰野中継ポンプ場
4	上伊那郡辰野町大字平出1820-1	平出中継ポンプ場

(3) ゲート室

	所在地	名称
1	伊那市東春近6309-1	天竜左岸ゲート室
2	伊那市西春近6674	天竜右岸ゲート室

2 主要な業務対象施設の概要は、別表1に示すとおりとする。

(業務の内容)

第3条 業務委託共通仕様書第7条第2号その他業務委託特記仕様書で定める施設に関わる業務の内容は、次のとおりとする。

(1) 中継ポンプ場・ゲート室

ア 各種機器の運転操作及び監視

イ 点検記録、管理日報、月報等の作成

ウ 各種機器の日常点検、定期点検及び臨時点検並びに調整及び整備

エ 故障等非常通報時の対応

オ 簡易な修理造作

カ 貸与施設備品等の管理

キ 場内の維持管理に必要な範囲の除雪

ク 廃棄物の処理

ケ その他業務上必要な諸作業

(2) 高圧洗浄機による最終沈殿池トラフ清掃作業は、箕輪浄水苑、大萱浄化センター、高遠浄化センターの3処理場で行う。

(3) 富士見処理場の除雪は別図の範囲とする。

(4) 委託範囲に含まれない業務は、別表2のとおりとする。

(勤務及び施設の運転管理体制)

第4条 勤務日、勤務時間及び勤務体制は、次のとおりとする。

(1) 従事者の通常勤務は、原則として別表3のとおりとする。

(2) 通常勤務時間外は、緊急通報システム体制による。

2 業務委託共通仕様書第16条第1項第2号の業務委託特記仕様書で定める汚泥処理施設の運転日及び運転時間は、原則として勤務日及び勤務時間における運転とする。

(業務対象の主要機器設備)

第5条 業務委託共通仕様書第21条の業務委託特記仕様書で定める業務対象とする主要機器設備の概要は、甲が別に示す「主要機器設備一覧表」に掲げる設備とする。

(点検整備)

第6条 業務委託共通仕様書第23条第2号の業務委託特記仕様書で定める日常点検及び定期点検の実施内容は、別表4のとおりとする。

(水質試験業務)

第7条 業務委託共通仕様書第25条の業務委託特記仕様書で定める水質試験業務の実施内容は、別表5のとおりとする。

(物品の受渡し及び取扱い上の注意)

第8条 業務上必要とする次の物品の受渡し及び取扱い上の注意は、甲の指示に従うものとする。

(1) 光熱水費(電気、ガス、水道)

(2) 燃料費(灯油、重油等)

(3) 薬品類

(4) その他業務上必要と認められる物品

- 2 乙が負担する物品は、別表6のとおりとする。
- 3 乙が負担するユーティリティは、別表7のとおりとする。

(非常通報時の対応)

第9条 非常通報装置による非常通報の対応は、速やかに各施設の保守体制をとるものとする。

(その他)

第10条 公益財団法人長野県下水道公社環境方針を理解し、環境に配慮すること。

別表1(第2条関係)

業務対象施設の概要

項目		伊那市					駒ヶ根市	辰野町		箕輪町	飯島町		南箕輪村	中川村		宮田村	富士見町		
		伊那浄水管理センター	小出島浄化センター	大萱浄化センター	殿島浄化センター	高遠浄化センター	駒ヶ根浄化センター	辰野水処理センター	小野水処理センター	箕輪浄水苑	飯島浄化センター	七久保浄化センター	南箕輪浄化センター	大草浄化センター	片桐浄化センター	宮田アグランド	富士見処理場	境処理場	
概要	下水道の種類	公共下水道	特定環境保全公共下水道	特定環境保全公共下水道	特定環境保全公共下水道	公共下水道	公共下水道	公共下水道	特定環境保全	公共下水道	公共下水道	公共下水道	公共下水道	公共下水道(大草処理区)	公共下水道(片桐処理区)	公共下水道	公共下水道	公共下水道	
	供用開始年月	平成5年3月	平成9年3月	平成13年3月	平成16年3月	平成5年3月	平成7年11月	平成4年3月	平成9年2月	平成6年3月	平成12年4月	平成20年4月	平成9年3月	平成9年4月	平成15年2月	平成4年11月	平成8年3月	平成11年3月	
	下水排除方式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	分流式	
	放流先河川	上新田雨水幹線(天竜川)	戸沢川	伊那合同排水路(小沢川)	清水川	蟹田沢(三峰川)	天竜川	天竜川	小野川	木下1号雨水幹線(天竜川)	社宮寺川	うなぎ沢川	旧県営2号排水路	天竜川	農業用水路(天竜川)	小田切川	釜無川	鹿の沢川	
	施設処理能力	12,980m <sup>3</sup> /日	1,150m <sup>3</sup> /日	2,580m <sup>3</sup> /日	1,600m <sup>3</sup> /日	2,600m <sup>3</sup> /日	10,240m <sup>3</sup> /日	7,240m <sup>3</sup> /日	2,130m <sup>3</sup> /日	7,550m <sup>3</sup> /日	1,400m <sup>3</sup> /日	800m <sup>3</sup> /日	6,000m <sup>3</sup> /日	500m <sup>3</sup> /日	900m <sup>3</sup> /日	3,750m <sup>3</sup> /日	2,700m <sup>3</sup> /日	1,300m <sup>3</sup> /日	
	計画流入水質(mg/L)	BOD	220	220	230	240	220	238	240	240	195	210	210	235	150	150	250	269	258
		SS	180	170	180	190	180	202	200	180	176	170	170	188	120	120	200	213	182
	計画放流水質(mg/L)	BOD	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下
		SS	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	24以下	25以下
	主ポンプ設備	有	有	自然流下	有	自然流下	有	自然流下	有	有	自然流下	有	有	有	自然流下	有	自然流下	有	
	水処理設備	処理方式	標準活性汚泥法	OD法	OD法	OD法	OD法	標準活性汚泥法	OD法	OD法	OD法	OD法	POD法	OD法	POD法	POD法	OD法	OD法	OD法
		形状	散気旋回流式	長円形	長円形+馬蹄形	馬蹄形	長円形	散気旋回流式	長円形	長円形	長円形	長円形	円形	長円形+馬蹄形	円形	円形	長円形+馬蹄形	長円形	長円形
		容量(m <sup>3</sup> )×池数	2,625×4池 +2,480×1池	575×2池	860×3池	1,600×1池	1,300×2池	900×4池	1,660×4池 2,030×1池 2,000×1池	1,065×2池	1,150×2池 +2,625×2池	1,400×1池	800×1池	1,500×2池 +3,000×1池	466×1池	900×1池	625×2池 1250×2池	900×3池	650×2池
		曝気方式	ルーツブロー	斜軸	縦+斜軸	縦軸	縦軸	ルーツブロー	縦、斜軸、ルーツブロー	斜軸	縦軸	縦軸	縦軸	縦+斜軸	斜軸	斜軸	横+斜軸	横軸	横軸
	汚泥処理設備	濃縮	重力濃縮+ベルト濃縮	なし	重力濃縮	なし	なし	重力濃縮	重力濃縮	なし	重力濃縮	重力濃縮	重力濃縮	なし	重力濃縮	重力濃縮	重力濃縮	重力濃縮	重力濃縮+機械濃縮
脱水機		ベルトプレス、ローラープレス	多重板式スクレープレス	遠心脱水機	多重板式スクレープレス	多重板式スクレープレス	スクレープレス、ベルトプレス	遠心脱水機	多重板式スクレープレス	遠心脱水機、多重板式スクレープレス	なし	なし	多重板式スクレープレス	なし	なし	遠心脱水機	遠心脱水機	なし	
脱水機台数		3台	1台	1台	1台	1台	2台	2台	1台	3台	なし	なし	2台	なし	なし	1台	1台	なし	
中継ポンプ場	2箇所(西町ポンプ場、山寺ポンプ場)	—	—	—	—	—	2箇所(辰野中継ポンプ場、平田中継ポンプ場)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
自家発電機(容量)	250kVA/6600V 260kVA/440V	100kVA/220V	なし	62.5kVA/210V	125kVA/400V	375kVA/6600V	なし	100kVA/210V	200kVA/420V	75kVA/210V	37.5kVA/210V	250kVA/420V	なし	なし	なし	50kVA/420V	50kVA/210V		
管理状況	管理体制	常駐(昼間)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	常駐(昼間)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	巡回(週2回)	
	R5年度流入量(m <sup>3</sup> /日)	8,193	574	1,261	1,137	921	7,288	5,268	750	6,924	922	281	4,248	240	423	2,086	1,788	585	
	R5年度脱水ケーキ量(t)	2,879	142	413	347	268	1,308	920	186	1,348	324	78	1,135	66	133	616	576	※	

※ 富士見処理場に濃縮汚泥移送 741.2m<sup>3</sup>

別表2 (第3条関係)

委託範囲外の業務

- 1 法定検査（クレーン検査、消防法関係の点検等）
- 2 改良、修繕工事（簡易修繕は除く。）
- 3 大型機器の分解点検
- 4 大規模な再塗装工事（簡易な塗装補修工事は除く。）
- 5 場内放送設備、自動電話交換設備保守点検
- 6 植栽管理（草刈り等）
- 7 一般空調設備の保守点検
- 8 沈砂、し渣、脱水汚泥の場外運搬及び処分業務
- 9 自家用電気工作物の保安管理業務
- 10 特定精密機器の保守点検（日常点検は除く。）
- 11 庁舎管理上の清掃業務（単純な清掃作業は除く。）
- 12 庁舎管理及び警備業務
- 13 除雪（維持管理に必要な箇所は除く。）
- 14 管渠（特殊な施設で受託されている業務を除く。）に関する事。
- 15 移動脱水車に関する事。

なお、協議の上委託範囲内とすることもできる。

別表3（第4条関係）

「伊那浄水管理センター、駒ヶ根浄化センター」の勤務日及び勤務時間

業務内容	平日	土曜日・日曜日・祝日	夜間
運転管理業務	8:30～17:15	8:30～17:15	なし
保守点検業務	8:30～17:15	なし	なし
水質管理業務	8:30～17:15	8:30～17:15	なし

「小出島浄化センター、大萱浄化センター、殿島浄化センター、高遠浄化センター、辰野水処理センター、小野水処理センター、箕輪浄水苑、飯島浄化センター、七久保浄化センター、南箕輪浄化センター、大草浄化センター、片桐浄化センター、宮田アクアランド、富士見処理場、境処理場」の勤務体制

業務内容	平日	土曜日・日曜日・祝日・夜間
運転管理業務	週2回及び汚泥脱水設備 運転日の巡回勤務 ※	なし
保守点検業務	週2回の巡回勤務	なし
水質管理業務	週2回及び汚泥脱水設備 運転日の巡回勤務	なし

※ 多重円板外胴型スクレープ式脱水機は、必要に応じて自動無人運転を行う。

「西町ポンプ場、山寺ポンプ場」の勤務体制

業務内容	平日	土曜日・日曜日・祝日・夜間
運転管理業務	週2回の巡回勤務	なし
保守点検業務	週2回の巡回勤務	なし

「辰野中継ポンプ場、平出中継ポンプ場」の勤務体制

業務内容	平日	土曜日・日曜日・祝日・夜間
運転管理業務	週1回の巡回勤務	なし
保守点検業務	週1回の巡回勤務	なし

「天竜左岸・右岸ゲート室」の勤務体制

業務内容	平日	土曜日・日曜日・祝日・夜間
保守点検業務	月2回の巡回勤務	なし

別表4（第6条関係）

点検の項目及び頻度

処理方式	点検対象設備、点検頻度の基準
標準活性汚泥法	<p>（公社）日本下水道協会発行の「下水道施設維持管理積算要領」の第4編下水道施設機械・電気設備保守点検基準第1章標準活性汚泥法を準用する。</p>
オキシデーショondiッチ法 （常駐）	<p>（公社）日本下水道協会発行の「下水道施設維持管理積算要領」の第4編下水道施設機械・電気設備保守点検基準第2章オキシデーショondiッチ法を準用する。</p>
オキシデーショondiッチ法 （巡回）	<p>（公社）日本下水道協会発行の「下水道施設維持管理積算要領」の第4編下水道施設機械・電気設備保守点検基準第2章オキシデーショondiッチ法を準用する。 日常点検は、週2回行うこと。</p>
中継ポンプ場、ゲート室	<p>（公社）日本下水道協会発行の「下水道施設維持管理積算要領」の第4編下水道施設機械・電気設備保守点検基準第3章中継ポンプ場を準用する。 日常点検は、週1回行うこと。</p>
マンホールポンプ場	<p>（公社）日本下水道協会発行の「下水道施設維持管理積算要領」の第4編下水道施設機械・電気設備保守点検基準第4章マンホール形式ポンプ場を準用する。 日常点検は、月1回行うこと。</p>

別表5(第7条関係) 水質試験項目

伊那浄水管理センター

試験種類 採水地点 項目	日常試験								通日試験 ※1					
	流入水	反応槽 流入水	終沈流出水					放流水	流入水			反応槽 流入	放流水	
			1-1池	1-2池	2-1池	2-2池	3-1池		竜西幹線 (西町P)	竜東幹線 (ポンプ)	流入水 (混合)			
水温	2回/週	2回/週							2回/週					
透視度	2回/週	2回/週	7回/週	7回/週	7回/週	7回/週	7回/週	7回/週	7回/週					
外観 ※2	検体採取時に異常がないか確認する。													
臭気 ※2														
水素イオン濃度(pH)	2回/週	2回/週							2回/週	2回/年	2回/年		2回/年	2回/年
化学的酸素要求量(COD)	1回/週	1回/週	1回/週					1回/週	2回/年	2回/年		2回/年	2回/年	
生物化学的酸素要求量(BOD)	1回/週	1回/週	1回/週					1回/週	2回/年	2回/年		2回/年	2回/年	
ATU-BOD			1回/週											
溶解性BOD		1回/月												
浮遊物質(SS)	1回/週	1回/週	1回/週(※3)		1回/週(※3)		1回/週	1回/週	2回/年	2回/年		2回/年	2回/年	
窒素含有量(全窒素)	2回/月		2回/月					2回/月						
アンモニア性窒素 (パックテスト)			2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	1回/月					2回/年	
亜硝酸性窒素 (パックテスト)			2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	1回/月					2回/年	
硝酸性窒素 (パックテスト)			2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	1回/月					2回/年	
りん含有量(全りん)	2回/月							2回/月						
n-ヘキサン抽出物質含有量	2回/月							2回/月			2回/年			
大腸菌数			2回/月(滅菌前放流水)					2回/月						
残留塩素(有効塩素)								7回/週						
終沈汚泥界面			7回/週	7回/週	7回/週	7回/週	7回/週							

※1 通日試験は、毎時採水し、そのうち2時間毎の混合12検体とする。(n-ヘキサン抽出物質含有量は4時間毎の混合6検体とする)

※2 外観、臭気については検体採取時に異常がないか確認する。

※3 どちらかの池で検体採取し、採取箇所については、同じ池で実施のこと。

別表5(第7条関係) 汚泥試験項目

伊那浄水管理センター

項目	採水地点						返送 汚泥 (系列毎)	最初 沈殿池	重力濃縮槽		遠心・ベルト濃縮機※3			濃縮余剰 汚泥貯留槽 引抜汚泥	汚泥貯留槽 (余剰・濃縮・混合) 凝集混和槽 パッケージ内	No.1・2・3脱水機※3			
	1-1池	1-2池	2-1池	2-2池	3-1池	使用池 全槽			投入 汚泥	引抜 汚泥	供給 汚泥	濃縮 汚泥	ろ液			供給 汚泥	脱 水 ケーキ	ろ液	
泥温(又は水温)	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週														
外 観 ※1	検体採取時に異常がないか確認する。																		
臭 気 ※1																			
水素イオン濃度(pH)	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週				1回/月	2回/週	2回/週	2回/週		2回/週			2回/週		2回/週
溶存酸素(DO)※4	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	必要時													
SV <sub>30</sub>	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週		必要時												
MLSS	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	必要時													
MLVSS	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月														
TS(SS)							2回/月		1回/月	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週			1回/月		毎回
生物検鏡	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週														
生物化学的酸素 要求量(BOD)																			1回/週
含水率(水分計)																	毎回	毎回	
汚泥界面								1回/週	7回/週										
ORP※4	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週	必要時													
硫化水素(測定器)									2回/月					2回/月				搬出日	

※1 外観、臭気については、検体採取時に異常がないか確認する。

※2 [ ] については、脱水機の稼働日にあわせる。

※3 稼働している機器について測定する。ろ液(濃縮機及び脱水機)にて汚泥の回収率も求める。

※4 溶存酸素(DO)は4槽目、ORPは3槽目で実施。必要時においては全槽で実施のこと。

※5 重力濃縮槽、余剰汚泥貯留槽、貯留槽は稼働している槽からサンプリング。

別表5(第7条関係) <水質試験項目>

項目	採水地点	日常試験			通日試験 流入水	
		流入水	終沈出口※1			放流水
			1池目	2池目		
水温		2回/週			2回/週	
透視度		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	
外観 臭気		検体採取時に異常が無いか確認する。				
水素イオン濃度(pH)		1回/週			2回/月	2回/年
化学的酸素要求量(COD)		2回/月			2回/月	2回/年
生物化学的酸素要求量(BOD)		2回/月	2回/月(滅菌前放流水)		2回/月	2回/年
ATU-BOD			必要時	必要時		
浮遊物質(SS)		2回/月			2回/月	2回/年
窒素含有量(全窒素)		1回/月			2回/月	
アンモニア性窒素 (パックテスト)			1回/週	1回/週		2回/年
亜硝酸性窒素 (パックテスト)			1回/週	1回/週		2回/年
硝酸性窒素 (パックテスト)			1回/週	1回/週		2回/年
りん含有量(全りん)		1回/月			2回/月	
大腸菌数			2回/月(滅菌前放流水)		2回/月	
残留塩素					2回/週	
n-ヘキサン抽出物質含有量		2回/年			2回/月	
電気伝導率		必要時			必要時	
終沈污泥界面			2回/週	2回/週		

※1 終沈出口は、各池毎に行う。

※2 通日試験は、1時間毎に採水を行い、2時間毎の混合12検体として実施する。

別表5(第7条関係) <污泥試験項目>

項目	採水地点	OD※1		返送汚泥※2	供給汚泥	脱水ケーキ	脱水ろ液
		1系	2系				
泥温(又は水温)		1回/週	1回/週		必要時		必要時
外観 臭気		検体採取時に異常が無いか確認する。					
水素イオン濃度(pH)		1回/週	1回/週		2回/週※4		必要時
溶存酸素(DO)		必要時	必要時				
SV <sub>30</sub>		1回/週	1回/週	必要時			
MLSS手分析		1回/週	1回/週				
MLSS計器		必要時	必要時				
MLVSS		1回/月	1回/月				
TS(SS)				1回/月			1回/月
酸素消費速度		必要時	必要時				
生物検鏡		2回/月	2回/月				
生物化学的酸素要求量(BOD)							必要時
含水率(水分計)					※3	2回/週※4	
硫化水素						搬出時	
污泥界面(堆積調査)		必要時	必要時				

※1 ODは、各池毎に実施する。(池空時は未実施) 生物検鏡 は、各系列交互に実施する。

※2 返送汚泥は、2池に分配されるため1系列として扱う。

※3 供給汚泥濃度は、ODのMLSSを代用する。

※4 巡回時に実施する。(供給汚泥pHは、ホリ硫酸第2鉄溶液添加後に測定)

別表5(第7条関係) <水質試験項目>

項目	採水地点	日常試験					通日試験 流入水
		流入水	終沈出口※1			放流水	
			1池目	2池目	3池目		
水温		2回/週				2回/週	
透視度		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。					
臭気							
水素イオン濃度(pH)		1回/週				2回/月	2回/年
化学的酸素要求量(COD)		2回/月				2回/月	2回/年
生物化学的酸素要求量(BOD)		2回/月	2回/月(滅菌前放流水)			2回/月	2回/年
ATU-BOD			必要時	必要時	必要時		
浮遊物質(SS)		2回/月				2回/月	2回/年
窒素含有量(全窒素)		1回/月				2回/月	
アンモニア性窒素						2回/年	
(パケットテスト)		1回/週	1回/週	1回/週			
亜硝酸性窒素						2回/年	
(パケットテスト)		1回/週	1回/週	1回/週			
硝酸性窒素						2回/年	
(パケットテスト)		1回/週	1回/週	1回/週			
りん含有量(全りん)		1回/月				2回/月	
大腸菌数			2回/月(滅菌前放流水)			2回/月	
残留塩素						2回/週	
n-ヘキサン抽出物質含有量		2回/年				2回/月	
電気伝導率		必要時				必要時	
終沈汚泥界面			2回/週	2回/週	2回/週		

※1 終沈出口は、各池毎に行う。

※2 通日試験は、1時間毎に採水を行い、2時間毎の混合12検体として実施する。

別表5(第7条関係) <汚泥試験項目>

項目	採水地点	OD ※	返送汚泥 ※	濃縮槽	貯留槽	供給汚泥	脱水 ケーキ	脱水ろ液
泥温(又は水温)		1回/週				必要時		必要時
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。						
臭気								
水素イオン濃度(pH)		1回/週				稼働日		必要時
溶存酸素(DO)		必要時						
SV <sub>30</sub>		1回/週	必要時					
MLSS手分析		1回/週						
MLSS計器		必要時						
MLVSS		1回/月						
TS(SS)			1回/月					稼働日
酸素消費速度		必要時						
生物検鏡		2回/月						
生物化学的酸素要求量(BOD)								必要時
含水率(水分計)						稼働日	稼働日	
硫化水素				必要時	必要時		搬出時	
汚泥界面(堆積調査)		必要時		2回/週				

※ OD・返送汚泥は、各系毎に実施する。

OD2池使用時は2池の測定とする

別表5(第7条関係) <水質試験項目>

項目	採水地点	日常試験			通日試験
		流入水	終沈出口	放流水	流入水
水温		2回/週		2回/週	
透視度		2回/週	2回/週	2回/週	
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。			
臭気					
水素イオン濃度(pH)		1回/週		2回/月	2回/年
化学的酸素要求量(COD)		2回/月		2回/月	2回/年
生物化学的酸素要求量(BOD)		2回/月	2回/月	2回/月	2回/年
ATU-BOD			必要時		
浮遊物質(SS)		2回/月		2回/月	2回/年
窒素含有量(全窒素)		1回/月		2回/月	
アンモニア性窒素				2回/年	
(パケット)			1回/週		
亜硝酸性窒素				2回/年	
(パケット)			1回/週		
硝酸性窒素				2回/年	
(パケット)			1回/週		
りん含有量(全りん)		1回/月		2回/月	
大腸菌数			2回/月	2回/月	
残留塩素				2回/週	
n-ヘキサン抽出物質含有量		2回/年		2回/月	
電気伝導率		必要時		必要時	
終沈污泥界面			2回/週		

※1 通日試験は、1時間毎に採水を行い、2時間毎の混合12検体として実施する。

別表5(第7条関係) <污泥試験項目>

項目	採水地点	OD	返送污泥	供給污泥	脱水ケーキ	脱水ろ液
		泥温(又は水温)	1回/週		必要時	
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。				
臭気						
水素イオン濃度(pH)		1回/週		2回/週 <sup>※2</sup>	必要時	
溶存酸素(DO)		必要時				
SV <sub>30</sub>		1回/週	必要時			
MLSS手分析		1回/週				
MLSS計器		必要時				
MLVSS		1回/月				
TS(SS)			1回/月		1回/月	
酸素消費速度		必要時				
生物検鏡		2回/月				
生物化学的酸素要求量(BOD)					必要時	
含水率(水分計)				※1	2回/週 <sup>※2</sup>	
硫化水素					搬出時	
污泥界面(堆積調査)		必要時				

※1 供給污泥濃度はODのMLSSで代用とする。

※2 巡回時に実施する。(脱水機停止時は不要)

別表5(第7条関係) <水質試験項目>

項目	採水地点	日常試験				通日試験※2
		流入水	終沈出口※1		放流水	流入水
			1池目	2池目		
水温		2回/週			2回/週	
透視度		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。				
臭気						
水素イオン濃度(pH)		1回/週			2回/月	2回/年
化学的酸素要求量(COD)		2回/月			2回/月	2回/年
生物化学的酸素要求量(BOD)		2回/月	2回/月(滅菌前放流水)		2回/月	2回/年
ATU-BOD			必要時	必要時		
浮遊物質(SS)		2回/月			2回/月	2回/年
窒素含有量(全窒素)		1回/月			2回/月	
アンモニア性窒素					2回/年	
(パケットテスト)			1回/週	1回/週		
亜硝酸性窒素					2回/年	
(パケットテスト)			1回/週	1回/週		
硝酸性窒素					2回/年	
(パケットテスト)			1回/週	1回/週		
りん含有量(全りん)		1回/月			2回/月	
大腸菌数			2回/月(滅菌前放流水)		2回/月	
残留塩素					2回/週	
n-ヘキサン抽出物質含有量		2回/年			2回/月	
電気伝導率		必要時			必要時	
終沈污泥界面			2回/週	2回/週		

※1 終沈出口は、各池毎に行う。

※2 通日試験は、2時間毎に採水を行い、12検体として実施する。

※3 OD槽使用池数により最終沈澱池試験回数を考慮する。

別表5(第7条関係) <污泥試験項目>

項目	採水地点	OD※1		返送 污泥※2	供給 污泥	脱 水 ケーキ※2	脱 水 ろ液
		1系	2系				
泥温(又は水温)		1回/週	1回/週		必要時		必要時
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。					
臭気							
水素イオン濃度(pH)		1回/週	1回/週		2回/週※4		必要時
溶存酸素(DO)		必要時	必要時				
SV <sub>30</sub>		1回/週	1回/週	必要時			
MLSS手分析		1回/週	1回/週				
MLSS計器		必要時	必要時				
MLVSS		1回/月	1回/月				
TS(SS)				1回/月			1回/月
酸素消費速度		必要時	必要時				
生物検鏡		2回/月	2回/月				
生物化学的酸素要求量(BOD)							必要時
含水率(赤外線水分計)					2回/週※3	2回/週※4	
硫化水素						搬出時	
污泥界面(堆積調査)		必要時	必要時				

※1 ODは、各池毎に実施する。

生物検鏡は、各系列交互に実施する。

※2 返送污泥は、2池に分配されるため1系列として扱う。

※3 供給污泥濃度は、ODのMLSSを代用する。

※4 巡回時に実施する。(供給污泥pHは、ホリ硫酸第2鉄溶液添加後に測定)

別表5(第7条関係) 水質試験項目

駒ヶ根浄化センター

項目	採水地点		日常試験							通日試験		
	流入水	反応槽 流入	1, 2系 反応槽 各槽	終沈出口 1-1系	終沈出口 1-2系	終沈出口 2-1系	終沈出口 2-2系	放流水	次亜塩素酸 ナトリウム	流入水	反応槽 流入	放流水
水温	2回/週	2回/週						2回/週				
透視度	3回/週	3回/週		勤務日	勤務日	勤務日	勤務日	勤務日				
外観	検体採取時に異常がないか確認する。											
臭気												
水素イオン濃度(pH)	2回/週	2回/週						1回/週		2回/年	2回/年	
化学的酸素要求量(COD)	1回/週	1回/週						1回/週		2回/年	2回/年	
生物化学的酸素要求量(BOD)	2回/月	2回/月		2回/月	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月		2回/年	2回/年	
ATU-BOD				2回/月	2回/月	2回/月	2回/月					
溶解性BOD		2回/月										
浮遊物質(SS)	1回/週	2回/月		2回/月	2回/月	2回/月	2回/月	1回/週		2回/年	2回/年	
窒素含有量(全窒素)	2回/月	2回/月						2回/月				
アンモニア性窒素		1回/月						1回/月				
〃 パックテスト			必要時	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週					
亜硝酸性窒素								1回/月				
〃 パックテスト			必要時	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週					
硝酸性窒素								1回/月				
〃 パックテスト			必要時	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週					
りん含有量(全りん)	2回/月	2回/月						2回/月				
n-ヘキサン抽出物質含有量	必要時							2回/月				
大腸菌数				2回/月	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月				
残留塩素(有効塩素)								勤務日	2回/月			
電気伝導率	必要時							必要時				
終沈汚泥界面				勤務日	勤務日	勤務日	勤務日					

※ 通日試験は毎時採取し、2時間毎の混合12検体とする。

※ 外観、臭気については検体採取時に異常がないか確認する。

別表5(第7条関係) 汚泥試験項目

駒ヶ根浄化センター

項目	採水地点	反応槽4槽目				反応槽(2槽)				返送汚泥		生汚泥 (最初沈殿池)	濃縮槽 引抜汚泥	濃縮槽	供給汚泥	脱水汚泥	脱水ろ液	
		1-2系	1-2系	2-1系	2-2系	1-2系	1-2系	2-1系	2-2系	1系	2系			1, 2系				
泥温(又は水温)		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週							必要時	必要時		必要時		必要時	
外 観		検体採取時に異常がないか確認する。																
臭 気																		
水素イオン濃度(pH)		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週											1回/週		1回/週
溶存酸素(DO)		1回/週	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週									
SV <sub>30</sub>		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週					必要時	必要時							
MLSS		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月									
MLVSS		1回/月		1回/月														
TS(SS)										1回/月	1回/月	1回/月						毎回
VS(SS)															1回/月			
酸素消費速度		必要時	必要時	必要時	必要時													
酸素消費速度(ATU添加)		必要時	必要時	必要時	必要時													
生物検鏡		1回/週		1回/週														
生物化学的酸素要求量(BOD)																		2回/月
含水率(水分計)															毎回	毎回		
汚泥界面												適時		勤務日				
硫化水素測定																	搬出時	

※ 外観・臭気については、検体採取時に異常がないか確認する。

※ XXXXXXXXXXについては、脱水機の稼働日にあわせる。

別表5(第7条関係) <水質試験項目>

項目	採水地点	日常試験							次亜塩素酸ナトリウム	通日試験※2
		流入水	終沈出口※1				放流水	流入水		
			生物反応槽 B2系	A1-1 or A1-2	A2-1 or A2-2	B1系				
水温		2回/週						2回/週		
透視度		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週		
外観 臭気		検体採取時に異常が無い確認する。								
水素イオン濃度(pH)		1回/週					1回/週	2回/月	2回/年	
化学的酸素要求量(COD)		2回/月						2回/月	2回/年	
生物化学的酸素要求量(BOD)		2回/月	2回/月(滅菌前放流水)			2回/月	2回/月	2回/月	2回/年	
ATU-BOD			必要時	必要時	必要時	必要時				
浮遊物質(SS)		2回/月	1回/月	1回/月	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月	2回/年	
窒素含有量(全窒素)		1回/月						2回/月		
アンモニア性窒素 (パックテスト)		2回/年	6, 9槽					2回/年		
亜硝酸性窒素 (パックテスト)		※1回/月	※1回/月	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週			
硝酸性窒素 (パックテスト)		2回/年		2回/月	2回/月	2回/月	2回/月			
りん含有量(全りん)		1回/月						2回/月		
大腸菌数		1回/年	2回/月(滅菌前放流水)			2回/月				
残留塩素								2回/週		
有効塩素									2回/月	
n-ヘキサン抽出物質含有量		1回/月						2回/月		
電気伝導率		2回/週						2回/週	2回/年	
終沈汚泥界面			2回/週	2回/週	2回/週	2回/週				

※1 終沈出口は、A1-1かA1-2の一方、A2-1かA2-2の一方、B1系、B2系の計4箇所とし、系列内で交互に実施する。(終沈汚泥界面を除く)  
 ※2 通日試験は、2時間毎に採水を行い、12検体として実施する。  
 ※ 流入水及びB2系6, 9槽のアンモニア性窒素(パックテスト)は月の最終週木曜日に実施する。

別表5(第7条関係) <水質試験項目>

項目	採水地点	OD※1			生物反応槽	返送汚泥※2			余剰汚泥	濃縮槽	貯留槽	供給汚泥	脱水ケーキ	脱水ろ液
		A1-1 or A1-2	A2-1 or A2-2	B1系		B2系	A1系列	A2系列						
泥温(又は水温)		1回/週	1回/週	1回/週	1回/週							必要時		必要時
外観 臭気		検体採取時に異常が無い確認する。												
水素イオン濃度(pH)		1回/週	1回/週	1回/週	1回/週							稼働日		必要時
溶存酸素(DO)		必要時	必要時	必要時	1回/週									
SV <sub>30</sub>		1回/週	1回/週	1回/週		必要時	必要時	必要時						
MLSS手分析		1回/週	1回/週	1回/週										
MLSS計器		必要時	必要時	必要時										
MLVSS		1回/月	1回/月	1回/月								月1回		
TS(SS)						1回/月	1回/月	1回/月	1回/月					稼働日
酸素消費速度		必要時	必要時	必要時										
生物検鏡		2回/月	2回/月	2回/月	※2回/月									
生物化学的酸素要求量(BOD)														必要時
含水率(赤外線水分計)												稼働日	稼働日	
電気伝導率												必要時		
硫化水素										必要時	必要時		搬出時	
汚泥界面(堆積調査)		必要時	必要時	必要時	必要時					2回/週				

※1 ODは、A1-1かA1-2の一方、A2-1かA2-2の一方、B1系の計3箇所とし、系列内で交互に実施する。  
 ※2 返送汚泥は、系列毎実施する。  
 ※3 B2系の泥温、溶存酸素については1,6,12槽で測定。(B2-1、B2-2)2系列実施する。  
 ※4 B2系のpHについては12槽で測定。(B2-1、B2-2)2系列実施する。  
 ※ B2系の生物検鏡については6槽で測定。

別表5(第7条関係) <水質試験項目>

項目	採水地点	日常試験			通日試験※2	
		流入水	終沈出口※1		放流水	流入水
			1池目	2池目		
水温		2回/週			2回/週	
透視度		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。				
臭気						
水素イオン濃度(pH)		1回/週			2回/月	2回/年
化学的酸素要求量(COD)		2回/月			2回/月	2回/年
生物化学的酸素要求量(BOD)		2回/月	2回/月(滅菌前放流水)		2回/月	2回/年
ATU-BOD			必要時	必要時		
浮遊物質(SS)		2回/月			2回/月	2回/年
窒素含有量(全窒素)		1回/月			2回/月	
アンモニア性窒素		2回/年			2回/年	
(パックテスト)			1回/週	1回/週		
亜硝酸性窒素		2回/年			2回/年	
(パックテスト)			2回/月	2回/月		
硝酸性窒素		2回/年			2回/年	
(パックテスト)			1回/週	1回/週		
りん含有量(全りん)		1回/月			2回/月	
大腸菌数		1回/年	2回/月(滅菌前放流水)		2回/月	
残留塩素					2回/週	
n-ヘキサン抽出物質含有量		2回/年			2回/月	
電気伝導率		必要時			必要時	
終沈污泥界面			2回/週	2回/週		

※1 終沈出口は、各池毎に行う。

※2 通日試験は、2時間毎に採水を行い、12検体として実施する。

別表5(第7条関係) <污泥試験項目>

項目	採水地点	OD※1		返送汚泥※2	供給汚泥	脱水ケーキ	脱水ろ液
		1系列	2系列				
泥温(又は水温)		1回/週	1回/週		必要時		必要時
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。					
臭気							
水素イオン濃度(pH)		1回/週	1回/週		2回/週※3		必要時
溶存酸素(DO)		必要時	必要時				
SV <sub>30</sub>		1回/週	1回/週	必要時			
MLSS手分析		1回/週	1回/週				
MLSS計器		必要時	必要時				
MLVSS		1回/月	1回/月				
TS(SS)				1回/月			1回/月
酸素消費速度		必要時	必要時				
生物検鏡		2回/月	2回/月				
生物化学的酸素要求量(BOD)							必要時
含水率(赤外線水分計)					2回/週※3	2回/週※4	
硫化水素						搬出時	
污泥界面(堆積調査)		必要時	必要時				

※1 ODは、各池毎に実施する。

生物検鏡は、各系列交互に実施する。

※2 返送汚泥は、2池に分配されるため1系列として扱う。

※3 供給汚泥濃度は、ODのMLSSを代用する。

※4 脱水機稼働時、巡回毎に実施する。(供給汚泥pHは、ホリ硫酸第2鉄溶液添加後に測定)

別表5(第7条関係) <水質試験項目>

項目	採水地点	日常試験					通日試験※2	
		流入水	終沈出口				放流水	流入水
		1-1系	1-2系	2系	3系			
水温		2回/週					2回/週	
透視度		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。						
臭気		検体採取時に異常が無いか確認する。						
水素イオン濃度(pH)		1回/週					2回/月	2回/年
化学的酸素要求量(COD)		2回/月					2回/月	2回/年
生物学的酸素要求量(BOD)		2回/月	2回/月(滅菌前放流水)				2回/月	2回/年
ATU-BOD			必要時	必要時	必要時	必要時		
浮遊物質(SS)		2回/月					2回/月	2回/年
窒素含有量(全窒素)		1回/月					2回/月	
アンモニア性窒素							2回/年	
(パックテスト)		1回/週	1回/週	1回/週	1回/週			
亜硝酸性窒素							2回/年	
(パックテスト)		1回/週	1回/週	1回/週	1回/週			
硝酸性窒素							2回/年	
(パックテスト)		1回/週	1回/週	1回/週	1回/週			
りん含有量(全りん)		1回/月					2回/月	
大腸菌数			2回/月(滅菌前放流水)				2回/月	
有効塩素※2								
残留塩素							2回/週	
n-ヘキサン抽出物質含有量		2回/年					2回/月	
電気伝導率		必要時					必要時	
終沈汚泥界面		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週			

※1 通日試験は、2時間毎に採水を行い、12検体として実施する。

※2 年1回実施する。測定日は別途協議する

別表5(第7条関係) <汚泥試験項目>

項目	採水地点	OD				返送汚泥				濃縮槽	貯留槽	供給汚泥	脱水ケーキ	脱水ろ液	
		1-1系	1-2系	2系	3系	1-1系	1-2系	2系	3系						
泥温(又は水温)		1回/週	1回/週	1回/週	1回/週							必要時		必要時	
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。													
臭気		検体採取時に異常が無いか確認する。													
水素イオン濃度(pH)		1回/週	1回/週	1回/週	1回/週									稼働日※1	必要時
溶存酸素(DO)		必要時	必要時	必要時	必要時										
SV <sub>30</sub>		1回/週	1回/週	1回/週	1回/週	必要時	必要時	必要時	必要時						
MLSS手分析		1回/週	1回/週	1回/週	1回/週										
MLSS計器		必要時	必要時	必要時	必要時										
MLVSS		1回/月	1回/月	1回/月	1回/月										
TS(SS)						1回/月	1回/月	1回/月	1回/月						稼働日※3
酸素消費速度		必要時	必要時	必要時	必要時										
生物検鏡		2回/月	2回/月	2回/月	2回/月										
生物学的酸素要求量(BOD)															必要時
含水率(赤外線水分計)												稼働日※2	稼働日※1		
硫化水素										必要時	必要時			搬出時	
汚泥界面(堆積調査)		必要時	必要時	必要時	必要時					2回/週					

生物検鏡は、各系とも2週に1回を目安とし、1-1系と1-2系、2系と3系は1週毎交互に測定する。(運用休止の系がある場合は協議)

※1 多重円盤外胴型スクープレス脱水機は、巡回時(週2回)に実施する。(供給汚泥pHは、ホリ硫酸第2鉄溶液添加後に測定)

※2 多重円盤外胴型スクープレス脱水機への供給汚泥含水率は、ODのMLSSを代用する。

※3 多重円盤外胴型スクープレス脱水機は月1回以上実施する。

※4 上記※1,2,3は、No.1及びNo.2多重円盤外胴型スクープレス脱水機とも実施する。(運用休止機は測定不要)

別表5(第7条関係) &lt;水質試験項目&gt;

項目	採水地点	日常試験		
		流入水	終沈出口	放流水
水温		2回/週		2回/週
透視度		2回/週	2回/週	2回/週
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。		
臭気				
水素イオン濃度(pH)		1回/週		2回/月
化学的酸素要求量(COD)		2回/月		2回/月
生物化学的酸素要求量(BOD)		2回/月		2回/月
ATU-BOD			必要時	
浮遊物質(SS)		2回/月		2回/月
窒素含有量(全窒素)		1回/月		2回/月
アンモニア性窒素 (パックテスト)			1回/週	2回/年
亜硝酸性窒素 (パックテスト)				2回/年
硝酸性窒素 (パックテスト)			1回/週	2回/年
りん含有量(全りん)		1回/月		2回/月
大腸菌数			2回/月	2回/月
残留塩素				2回/週
n-ヘキサン抽出物質含有量				2回/月
電気伝導度		必要時		必要時
終沈污泥界面			2回/週	

別表5(第7条関係) &lt;污泥試験項目&gt;

項目	採水地点	日常試験						
		OD	返送污泥	濃縮槽	貯留槽	供給污泥	脱水ケーキ	脱水ろ液
泥温(又は水温)		1回/週				必要時		必要時
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。						
臭気								
水素イオン濃度(pH)		1回/週				必要時		必要時
溶存酸素(DO)		必要時						
SV <sub>30</sub>		1回/週	必要時					
MLSS手分析		1回/週						
MLSS計器		必要時						
MLVSS		2回/年						
TS(SS)			1回/月					1回/月
酸素消費速度		必要時						
生物検鏡		必要時						
生物化学的酸素要求量(BOD)								必要時
含水率(赤外線水分計)						必要時	必要時	
硫化水素				必要時	必要時		必要時	
污泥界面(堆積調査)		必要時		2回/週				

別表5(第7条関係) &lt;水質試験項目&gt;

項目	採水地点	日常試験		
		流入水	終沈出口	放流水
水温		2回/週		2回/週
透視度		2回/週	2回/週	2回/週
外観		検体採取時に異常が 無いか確認する。		
臭気				
水素イオン濃度(pH)		1回/週		2回/月
化学的酸素要求量(COD)		2回/月		2回/月
生物化学的酸素要求量(BOD)		2回/月		2回/月
ATU-BOD			必要時	
浮遊物質(SS)		2回/月		2回/月
窒素含有量(全窒素)		1回/月		2回/月
アンモニア性窒素 (パックテスト)			1回/週	
亜硝酸性窒素 (パックテスト)				2回/年
硝酸性窒素 (パックテスト)			1回/週	2回/年
りん含有量(全りん)		1回/月		2回/月
大腸菌数			2回/月	2回/月
残留塩素				2回/週
n-ヘキサン抽出物質含有量				2回/月
電気伝導度		必要時		必要時
終沈污泥界面			2回/週	

別表5(第7条関係) &lt;污泥試験項目&gt;

項目	採水地点	日常試験						
		OD	返送污泥	濃縮槽	貯留槽	供給污泥	脱水ケーキ	脱水ろ液
泥温(又は水温)		1回/週				必要時		必要時
外観		検体採取時に異常が 無いか確認する。						
臭気								
水素イオン濃度(pH)		1回/週				必要時		必要時
溶存酸素(DO)		必要時						
SV <sub>30</sub>		1回/週	必要時					
MLSS手分析		1回/週						
MLSS計器		必要時						
MLVSS		2回/年						
TS(SS)			1回/月					1回/月
酸素消費速度		必要時						
生物検鏡		必要時						
生物化学的酸素要求量(BOD)								必要時
含水率(赤外線水分計)						必要時	必要時	
硫化水素				必要時	必要時		必要時	
污泥界面(堆積調査)		必要時		2回/週				

別表5(第7条関係) <水質試験項目>

項目	採水地点	日常試験				通日試験※1	
		流入水	終沈出口			放流水	流入水
			1-1系	1-2系	2系		
水温		2回/週				2回/週	
透視度		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。					
臭気							
水素イオン濃度(pH)		1回/週				2回/月	2回/年
化学的酸素要求量(COD)		2回/月				2回/月	2回/年
生物化学的酸素要求量(BOD)		2回/月	2回/月(滅菌前放流水)			2回/月	2回/年
ATU-BOD			必要時	必要時	必要時		
浮遊物質(SS)		2回/月				2回/月	2回/年
窒素含有量(全窒素)		1回/月				2回/月	
アンモニア性窒素						2回/年	
(パックテスト)		1回/週	1回/週	1回/週			
亜硝酸性窒素						2回/年	
(パックテスト)		1回/週	1回/週	1回/週			
硝酸性窒素						2回/年	
(パックテスト)		1回/週	1回/週	1回/週			
りん含有量(全りん)		1回/月				2回/月	
大腸菌数			2回/月(滅菌前放流水)			2回/月	
残留塩素						2回/週	
n-ヘキサン抽出物質含有量		2回/年				2回/月	
電気伝導率		必要時				必要時	
終沈汚泥界面			2回/週	2回/週	2回/週		

※1 通日試験は、2時間毎に採水を行い、12検体として実施する。

別表5(第7条関係) <汚泥試験項目>

項目	採水地点	OD※1			返送	供給	脱水	脱水
		1系	1-1系	2系	汚泥※1	汚泥※2	ケーキ※2	ろ液※2
泥温(又は水温)		1回/週	1回/週	1回/週		必要時		必要時
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。						
臭気								
水素イオン濃度(pH)		1回/週	1回/週	1回/週		2回/週※4		必要時
溶存酸素(DO)		必要時	必要時	必要時				
SV <sub>30</sub>		1回/週	1回/週	1回/週	必要時			
MLSS手分析		1回/週	1回/週	1回/週				
MLSS計器		必要時	必要時	必要時				
MLVSS		1回/月	1回/月	1回/月				
TS(SS)					1回/月			1回/月
酸素消費速度		必要時	必要時	必要時				
生物検鏡		2回/月	2回/月	2回/月				
生物化学的酸素要求量(BOD)								必要時
含水率(赤外線水分計)						2回/週※3	2回/週※4	
硫化水素							搬出時	
汚泥界面(堆積調査)		必要時	必要時	必要時				

※1 OD・返送汚泥は、各系毎に実施する。

生物検鏡 は、各系列交互に実施する

※2 脱水機毎に実施する。

※3 供給汚泥含水率は、ODのMLSSを代用する。

※4 巡回時に実施する。(供給汚泥pHは、ホリ硫酸第2鉄溶液添加後に測定)

別表5(第7条関係) <水質試験項目>

項目	採水地点	日常試験		
		流入水	終沈出口	放流水
水温		2回/週		2回/週
透視度		2回/週	2回/週	2回/週
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。		
臭気				
水素イオン濃度(pH)		1回/週		2回/月
化学的酸素要求量(COD)		2回/月		2回/月
生物化学的酸素要求量(BOD)		2回/月	2回/月	2回/月
ATU-BOD			必要時	
浮遊物質(SS)		2回/月		2回/月
窒素含有量(全窒素)		1回/月		2回/月
アンモニア性窒素				2回/年
(パックテスト)			1回/週	
亜硝酸性窒素				2回/年
(パックテスト)			1回/週	
硝酸性窒素				2回/年
(パックテスト)			1回/週	
りん含有量(全りん)		1回/月		2回/月
大腸菌数			2回/月	2回/月
残留塩素				2回/週
n-ヘキサン抽出物質含有量		2回/年		2回/月
電気伝導率		必要時		必要時
終沈污泥界面			2回/週	

別表5(第7条関係) <污泥試験項目>

項目	採水地点	OD	返送污泥	濃縮槽	貯留槽	供給污泥	脱水ケーキ	脱水ろ液
		泥温(又は水温)	1回/週				必要時	
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。						
臭気								
水素イオン濃度(pH)		1回/週			必要時		必要時	
溶存酸素(DO)		必要時						
SV <sub>30</sub>		1回/週	必要時					
MLSS手分析		1回/週						
MLSS計器		必要時						
MLVSS		1回/月						
TS(SS)			1回/月				1回/月	
酸素消費速度		必要時						
生物検鏡		2回/月						
生物化学的酸素要求量(BOD)							必要時	
含水率(赤外線水分計)					必要時	必要時		
硫化水素				必要時	必要時	必要時		
污泥界面(堆積調査)		必要時		2回/週				

別表5(第7条関係) &lt;水質試験項目&gt;

項目	採水地点	日常試験		
		流入水	終沈出口	放流水
水温		2回/週		2回/週
透視度		2回/週	2回/週	2回/週
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。		
臭気				
水素イオン濃度(pH)		1回/週		2回/月
化学的酸素要求量(COD)		2回/月		2回/月
生物化学的酸素要求量(BOD)		2回/月	2回/月	2回/月
ATU-BOD			必要時	
浮遊物質(SS)		2回/月		2回/月
窒素含有量(全窒素)		1回/月		2回/月
アンモニア性窒素				2回/年
(パックテスト)			1回/週	
亜硝酸性窒素				2回/年
(パックテスト)			1回/週	
硝酸性窒素				2回/年
(パックテスト)			1回/週	
りん含有量(全りん)		1回/月		2回/月
大腸菌数			2回/月	2回/月
残留塩素				2回/週
n-ヘキサン抽出物質含有量		2回/年		2回/月
電気伝導率		必要時		必要時
終沈污泥界面			2回/週	

別表5(第7条関係) &lt;污泥試験項目&gt;

項目	採水地点	日常試験						
		OD	返送污泥	濃縮槽	貯留槽	供給污泥	脱水ケーキ	脱水ろ液
泥温(又は水温)		1回/週				必要時		必要時
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。						
臭気								
水素イオン濃度(pH)		1回/週				必要時		必要時
溶存酸素(DO)		必要時						
SV <sub>30</sub>		1回/週	必要時					
MLSS手分析		1回/週						
MLSS計器		必要時						
MLVSS		1回/月						
TS(SS)			1回/月					1回/月
酸素消費速度		必要時						
生物検鏡		2回/月						
生物化学的酸素要求量(BOD)								必要時
含水率(赤外線水分計)						必要時	必要時	
硫化水素				必要時	必要時		必要時	
污泥界面(堆積調査)		必要時		2回/週				

別表5(第7条関係) <水質試験項目>

項目	採水地点	日常試験					通日試験※2	
		流入水	終沈出口※1				放流水	流入水
			1-1系	1-2系	2系	3系		
水温		2回/週					2回/週	
透視度		2回/週	2回/週		2回/週	2回/週	2回/週	
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。						
臭気								
水素イオン濃度(pH)		1回/週					2回/月	2回/年
化学的酸素要求量(COD)		2回/月					2回/月	2回/年
生物化学的酸素要求量(BOD)		2回/月	2回/月(滅菌前放流水)				2回/月	2回/年
ATU-BOD			必要時	必要時	必要時	必要時		
浮遊物質(SS)		2回/月					2回/月	2回/年
窒素含有量(全窒素)		1回/月					2回/月	
アンモニア性窒素							2回/年	
(パックテスト)			1回/週		1回/週	1回/週		
亜硝酸性窒素							2回/年	
(パックテスト)			1回/週		1回/週	1回/週		
硝酸性窒素							2回/年	
(パックテスト)			1回/週		1回/週	1回/週		
りん含有量(全りん)		1回/月					2回/月	
大腸菌数			2回/月(滅菌前放流水)				2回/月	
残留塩素							2回/週	
n-ヘキサン抽出物質含有量		2回/年					2回/月	
電気伝導率		必要時					必要時	
終沈汚泥界面			2回/週	2回/週	2回/週	2回/週		

※1 終沈出口は、各池毎に行う。

※2 通日試験は、2時間毎に採水を行い、12検体として実施する。

別表5(第7条関係) <汚泥試験項目>

項目	採水地点	OD			返送汚泥※1		供給汚泥	脱水ケーキ	脱水ろ液
		1-1系	1-2系	2系 3系 ※1	1系	2系 3系			
泥温(又は水温)		1回/週		1回/週			必要時		必要時
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。							
臭気									
水素イオン濃度(pH)		1回/週		1回/週			2回/週※3		必要時
溶存酸素(DO)									
ORP									
SV <sub>30</sub>		1回/週		1回/週	必要時	必要時			
MLSS手分析		1回/週	必要時	1回/週					
MLSS計器		必要時	必要時	必要時					
MLVSS		1回/月	必要時	1回/月					
TS(SS)					1回/月	1回/月			1回/月
酸素消費速度		必要時	必要時	必要時					
生物検鏡		2回/月	必要時	2回/月					
生物化学的酸素要求量(BOD)									必要時
含水率(赤外線水分計)							2回/週※3	2回/週※4	
硫化水素								搬出時	
汚泥界面(堆積調査)		必要時	必要時	必要時					

※1 ODは、各池毎に実施する。

生物検鏡は、各系列交互に実施する。

※2 返送汚泥は、2、3系は系列毎実施する。1系は汚泥を分配しているため、同系列と見なす。

※3 供給汚泥濃度は、ODのMLSSを代用する。

※4 脱水機稼働時、巡回毎に実施する。(供給汚泥pHは、ホリ硫酸第2鉄溶液添加後に測定)

別表5(第7条関係) &lt;水質試験項目&gt;

項目	採水地点	日常試験				放流水	通日試験 流入水
		流入水	終沈出口※1				
			1池目	2池目	3池目		
水温		2回/週				2回/週	
透視度		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。					
臭気							
水素イオン濃度(pH)		1回/週				2回/週	1回/年
化学的酸素要求量(COD)		2回/月				2回/月	1回/年
アンモニア性窒素(パックテスト)			1回/週	1回/週	1回/週		
亜硝酸性窒素(パックテスト)			1回/週	1回/週	1回/週		
硝酸性窒素(パックテスト)			1回/週	1回/週	1回/週		
残留塩素						2回/週	
電気伝導率		必要時				必要時	
終沈污泥界面			2回/週	2回/週	2回/週		
外注試験検体採取		2回/月	2回/月			2回/月	1回/年

※1 終沈出口は、各池毎に行う。

※2 通日試験は、1時間毎に採水を行い、2時間毎の混合12検体として実施する。

別表5(第7条関係) &lt;污泥試験項目&gt;

項目	採水地点	OD ※	返送污泥 ※	濃縮槽	貯留槽	供給污泥	脱水 ケーキ	脱水ろ液
泥温(又は水温)		1回/週				必要時		必要時
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。						
臭気								
水素イオン濃度(pH)		1回/週				稼働日		必要時
溶存酸素(DO)		必要時						
SV <sub>30</sub>		1回/週	必要時					
MLSS計器		1回/週						
生物検鏡		2回/月						
含水率(水分計)						稼働日	稼働日	
硫化水素				2回/月	2回/月		搬出時	
污泥界面(堆積調査)		必要時		2回/週				
外注試験検体採取		2回/月	1回/月			1回/月	1回/月	1回/月

※ OD・返送污泥は、各系毎に実施する。

別表5(第7条関係) <水質試験項目>

項目	採水地点	日常試験			通日試験 流入水	
		流入水	終沈出口※1			放流水
			1池目	2池目		
水温		2回/週			2回/週	
透視度		2回/週	2回/週	2回/週	2回/週	
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。				
臭気						
水素イオン濃度(pH)		1回/週			2回/週	1回/年
化学的酸素要求量(COD)		2回/月			2回/月	1回/年
アンモニア性窒素(パックテスト)			1回/週	1回/週		
亜硝酸性窒素(パックテスト)			1回/週	1回/週		
硝酸性窒素(パックテスト)			1回/週	1回/週		
残留塩素					2回/週	
電気伝導率		必要時			必要時	
終沈污泥界面			2回/週	2回/週		
外注試験検体採取		2回/月	2回/月		2回/月	1回/年

※1 終沈出口は、各池毎に行う。

※2 通日試験は、1時間毎に採水を行い、2時間毎の混合12検体として実施する。

別表5(第7条関係) <污泥試験項目>

項目	採水地点	OD ※	返送污泥 ※	濃縮槽	機械濃縮	貯留槽	機械濃縮 供給污泥	機械濃縮 濃縮污泥	移送污泥
泥温(又は水温)		1回/週					必要時	必要時	必要時
外観		検体採取時に異常が無いか確認する。				検体採取時に異常が無いか確認する。			
臭気									
水素イオン濃度(pH)		1回/週					必要時	必要時	移送日
溶存酸素(DO)		必要時							
SV <sub>30</sub>		1回/週	必要時						
MLSS計器		1回/週							
生物検鏡		2回/月							
含水率(水分計)							稼働日	稼働日	移送日
硫化水素				2回/月	2回/月	2回/月			
污泥界面(堆積調査)		必要時		必要時					
外注試験検体採取		2回/月	1回/月						

※ OD・返送污泥は、各系毎に実施する。

別表6（第8条関係）

## 直接経費に含まれる消耗品等

## 1 業務の履行に必要とする消耗品等

用途区分	物品	左の具体例
潤滑油脂	保守点検業務に必要な補充、交換用（少量の場合に限る。）のオイル、グリス等	
修繕補修用材料	保守点検業務の範囲内で行う簡易な修繕修理に使用する一般汎用品であるボルト、ナット、パッキン、ヒューズ、ランプ、ウエス、洗浄油、塗装資材等の補修用材料	一般汎用品であるボルト、パッキン、Vボルト、豆電球、端子、蛍光管（建築付帯は除く。）、コーキング材、電線、コンセント、アンカー、ゴムキャップ、結束用材、50A以下の配管用品（パイプ、ソケット、バルブ、バンド、カップリング、ニップル）、テープ、ホース、ゴム板、ロープ、ウエス、機器洗浄油類、塗料、塗装用刷毛、シンナー、薄め液、錆止め材料等（製造業者等への特注品、委託者が別に指示するものを除く。）
水質試験消耗品	水質試験補助業務に必要な消耗品（薬品、試薬、特殊機器関係消耗品を除く。）	チューブ、ガス管、脱脂綿、ラベル、pH試験紙、紙雑巾、ティッシュペーパー、ガーゼ、ポリ袋、シールテープ、アルミホイル、真空ホース、ホースバンド等
報告記録用紙	保守点検、運転監視等の受託業務の記録に用いる各種記録報告用紙類	プリンター用紙、ハードコピー用紙、連続用紙等
清掃用具	清掃作業に用いる用具	バケツ、ブラシ、モップ、ワイヤブラシ、クレンザー、たわし、洗浄剤等
衛生用品	石鹼、消毒液、殺虫剤、救急薬品等	
その他	簡易なごみ焼却炉及び給湯ボイラー用燃料	灯油、LPガス
	連絡用自動車、可搬式エンジン等に必要な燃料	ガソリン、軽油
	日用品、事務用品等	

※1 潤滑油脂における定期及びオーバーホール時の交換、特殊なオイル、グリス類は除く。

※2 水質試験消耗品における水素イオン濃度計及び酸素濃度計等の電極、純水製造装置のイオン交換樹脂、原子吸光光度計のオートサンプラー用サンプルカップ、ろ紙は除く。

※3 報告記録用紙におけるチャート紙は除く。

## 2 専ら使用する備品等

### (1) 工具及び測定機器類

#### ア 機械工具

スパナ類、レンチ類、ペンチ類、プライヤー類、ドライバー類、ハンマー類、ドリル類、ヤスリ類、ノコギリ類、タガネ類、カッター類、ポンチ類、グラインダー類、砥石類、ブラシ類、コンパス類、万力類、カジヤ類、トーチランプ、油さし、グリースガン、ショベル類、はしご類、ロープ類、携帯用工具箱、台車、その他

#### イ 電気用具

圧着ペンチ、絶縁ペンチ類、電工ナイフ、電工バンド類、投光器、コードリール、懐中電灯類、トランシーバー

#### ウ 測定器具

絶縁抵抗計、検電器、テスター、クランプメーター、回転計、ノギス、スケール類、シクネスゲージ、ダイヤルゲージ、ストップウォッチ、温度計

#### エ 水質試験器具

ガラス器具等の例	試験用器具等の例
駒込ピペット、 メスシリンダー(500mL, 1000mL)、 ポリシリンダー(500mL, 1000mL)、 共栓付メスシリンダー(100mL, 200mL)、 比色管、 ビーカー(50mL, 100mL, 300mL, 500mL)、 ポリ瓶(広口)(100mL, 500mL, 1000mL)、 温度計(アルコール)	比色管立て、攪拌子(テフロン 大中小)、 攪拌子取出棒(テフロン)、 駒込ピペット用スポイト、スプーン(SUS製)、 ピンチコック(スクリュー、ホフマン)、 洗ビン(500mL, 1000mL)、バケツ(ポリ製15L)、 透視度計(アクリル架台付30cm, 50cm, 100cm)、 ゴム手袋、ブラシ、ロープ、 散気用エアストーン、かご

### (2) その他

連絡用自動車、自転車、電話機、事務用机類、書庫類、黒板類、複写機、写真機、ロッカー類、下足箱、傘立て、清掃具収納庫、食器棚、各種茶器類、寝具類、テレビ、ラジオ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機、電気掃除機

## 3 その他

- (1) 委託者が購入し貸与している備(物)品の点検・修繕、校正、定期検査等に係わる費用は、委託者の負担とする。
- (2) 間接業務費、諸経費に含まれる備(物)品等については積算要領に例示されているので、留意すること。
- (3) 処理場の業務状況はそれぞれにより異なるので、実態を十分勘案し、疑義がある場合は協議をすること。

別表 7 (第 8 条関係)

## 「駒ヶ根浄化センター」のユーティリティ

品名	規格・仕様	単位	数量					
			令和 7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	合計
消臭剤	無臭元 G-055-UJ	kg	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	36,000
FBK RO32	20L/缶	缶	2	2	2	2	2	10
スーパ-ハイラント <sup>®</sup> 32	20L/缶	缶	3	2	3	2	3	13
スーパ-ハイラント <sup>®</sup> 46	20L/缶	缶	0	3	3	3	3	12
ホソノック TS150	20L/缶	缶	1	1	1	1	1	5
ホソノック TS460	20L/缶	缶	0	1	0	1	0	2
ジェルアルパニア EP-1	16kg/缶	缶	0	1	0	1	0	2
FBK RO100	20L/缶	缶	0	1	0	1	0	2
ホソノック TS220	20L/缶	缶	0	0	1	0	0	1
パ-マクラシック(標準オイル)カートリッジ <sup>®</sup>	120mL	缶	1	1	1	1	1	5
カートリッジパ-マフレックス FX-SO32	120mL	缶	1	1	1	1	1	5
蛍光灯(白色)ピコットスタート 40W	25 本/箱	箱	1	0	1	0	1	3
蛍光灯(白色)グロー型 10W	10 本/箱	箱	1	1	1	1	1	5
レバ-ルキ-ュレータ LC-12		本	2	0	2	0	2	6
差し込み式点灯管 FG-1P		本	0	1	0	0	0	1
シュウ酸ナトリウム溶液(N/10)	500mL/本	本	2	2	2	2	2	10
過マンガン酸カリウム溶液(N/2)	500mL/本	本	2	1	2	1	2	8
次亜塩素酸ナトリウム(5%)	500mL/本	本	0	1	0	0	1	2
ヘキサ-ン(K8848)	3000mL/本	本	4	4	4	4	4	20
モリブデン酸アンモニウム四水和物(粉末)	500g/本	本	0	0	0	0	1	1
標準液緩衝液(中性リン酸塩 pH7 標準液)	500mL/本	本	1	1	1	1	1	5
標準液緩衝液(ほう酸塩 pH9 標準液)	500mL/本	本	1	1	1	1	1	5
標準液緩衝液(フタル酸塩 pH4 標準液)	500mL/本	本	1	1	1	1	1	5
N・N-ジ-エチル-P フェニレンジ-アミン硫酸塩	100g/本	本	5	4	5	4	5	23
硫酸	6kg/本	本	0	0	1	1	1	3
水酸化ナトリウム(粒状)	500 g / mL	本	0	0	0	1	1	2
バックテスト硝酸性窒素前処理剤	50 個/箱	箱	16	16	15	16	16	79
バックテスト硝酸性窒素詰め替え用	150 個/箱	箱	6	6	5	6	6	29
バックテスト亜硝酸性窒素詰め替え用	150 個/箱	箱	5	5	4	5	5	24
バックテストアンモニア性窒素詰め替え用	150 個/箱	箱	6	6	5	6	6	29
ガスチェック検知管(硫化水素測定用)	10 本/箱	箱	1	1	2	1	2	7
ガスチェック検知管(メタンガス類測定用)	10 本/箱	箱	1	1	2	1	2	7
亜硫酸ナトリウム	500g/本	箱	0	0	1	0	1	2
塩酸(abt35%)	500 mL/箱	本	0	0	1	0	0	1
フェノール	500g/本	本	0	1	0	1	0	2
亜硝酸ナトリウム	25g/本	本	0	0	0	0	1	1
アセトン	特級 500mL/本	本	0	0	0	1	0	1
デ-バルタ合金	500g/本	本	0	0	0	0	1	1



(第5条関係)

## 伊那浄水管理センター主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
沈砂池ポンプ 設備	汚水ポンプ	$\phi 150\text{mm} \times 2.4\text{m}^3/\text{min} \times 12\text{m} \times 3\text{台}$ (3,456 $\text{m}^3/\text{日} \times 3$ )11kW $\times 3$	
		$\phi 200\text{mm} \times 4.4\text{m}^3/\text{min} \times 12\text{m} \times 1\text{台}$ (6,336 $\text{m}^3/\text{日} \times 1$ )18.5kW $\times 1$	
		$\phi 200\text{mm} \times 5.1\text{m}^3/\text{min} \times 12\text{m} \times 1\text{台}$ (7,344 $\text{m}^3/\text{日} \times 1$ )18.5kW $\times 1$	
	揚砂ポンプ	$\phi 80\text{mm} \times 0.5\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m} \times 2\text{台}$ 7.5kW $\times 2$	
除塵設備	方式	脱水機構付ドラム状スクリーン $\times 2$ 基 円筒スクリーンしき脱水機 $\times 2$ 基	
	能力	540 $\text{m}^3/\text{h} \times 2$ (12,960 $\text{m}^3/\text{日} \times 2$ )	
最初沈殿池設備	寸法	幅5m $\times$ 長15m $\times$ 深3m	
	容量	225 $\text{m}^3 \times 3$ 池	
	計画滞留時間	2.3 hr	
	生汚泥引抜ポンプ	$\phi 100\text{mm} \times 1.0\text{m}^3/\text{min} \times 6\text{m} \times 2\text{台}$ (1,440 $\text{m}^3/\text{日} \times 2$ )	
	汚泥掻寄機	チェーンフライト式 幅5.0m $\times$ 長13m $\times 3$ 基	
	スカムスキマー	電動式パイプスキマー $\phi 300\text{mm} \times 5000\text{mm} \times 3$ 基	
反応槽設備	現有最大処理能力	2,625 $\text{m}^3/\text{日} \times 4$ 池、2,480 $\text{m}^3/\text{日} \times 1$ 池	
	計画最大処理能力	25,380 $\text{m}^3/\text{日}$	
	寸法	幅5.0m $\times$ 長36m $\times$ 深5.0m $\times 4$ 池、幅5.4m $\times$ 長30.5m $\times$ 深5.5m $\times 1$ 池	
	容量	882 $\text{m}^3 \times 4$ 池、891 $\text{m}^3 \times 1$ 池	
	計画滞留時間	8 hr	
	送風機	方式	ルーツ式ブロー
		能力	$\phi 150\text{mm} \times 15 \text{Nm}^3/\text{min} \times 2$ 台、 $\phi 200\text{mm} \times 30 \text{Nm}^3/\text{min} \times 3$ 台
	散気装置	散気板 12枚、メンブレンパネル式 6.4 $\text{m}^3/\text{m}^2 \cdot \text{h} \times 2$ 4.27 $\text{m}^3/\text{m}^2 \cdot \text{h} \times 3$	
水中攪拌機	水中機械式 1.5kW $\times 1$ 台、2.2 kW $\times 7$ 台、3.7 kW $\times 4$ 台		
最終沈殿池設備	寸法	幅5m $\times$ 長21m $\times$ 深3m $\times 4$ 池、幅5.4m $\times$ 長23m $\times$ 深3.5m $\times 1$ 池	
	容積(表面積)	315 $\text{m}^3 \times 4$ (105 $\text{m}^2 \times 4$ )、435 $\text{m}^3 \times 1$ (125 $\text{m}^2 \times 1$ )	
	計画滞留時間	3.2hr	
	汚泥掻寄機	チェーンフライト式 幅5.0m $\times$ 長17.5m $\times 5$ 基	
	スカムスキマー	電動式 $\phi 300\text{mm} \times 5000\text{mm} \times 4$ 基、 $\phi 300\text{mm} \times 5400\text{mm} \times 1$ 基	
	返送汚泥ポンプ	$\phi 100\text{mm} \times 1.0\text{m}^3/\text{min} \times 8\text{m} \times 2$ 台、 $\phi 150\text{mm} \times 2.0\text{m}^3/\text{h} \times 5\text{m} \times 5$ 台	
	余剰汚泥ポンプ	$\phi 80\text{mm} \times 1.0\text{m}^3/\text{min} \times 7\text{m} \times 2$ 台、 $\phi 80\text{mm} \times 0.5\text{m}^3/\text{min} \times 7\text{m} \times 2$ 台	
塩素混和池設備	寸法	2m $\times 2\text{m} \times 16\text{m} \times 4$	
	容量	256 $\text{m}^3$	
	計画滞留時間	16min	
	消毒設備	次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプ $\times 3$ (放流流量比率制御)	
	使用薬剤	次亜塩素酸ナトリウム	
汚泥処理設備	重力濃縮タンク	寸法	$\phi 4.5 \text{m} \times 3.0 \text{m} \times 1$ 基、 $\phi 5.7 \text{m} \times 3.5 \text{m} \times 1$ 基
		容量	47.7 $\text{m}^3$ 、89.3 $\text{m}^3$
		掻寄機	2.0 m/min、2.0 m/min
	濃縮汚泥引抜ポンプ	$\phi 100\text{mm} \times 7.3\text{m}^3/\text{min} \times 2$ 台、 $\phi 100\text{mm} \times 7.4\text{m}^3/\text{h} \times 2$ 台	
	スカム排水ポンプ	$\phi 100\text{mm} \times 1.1\text{m}^3/\text{min} \times 2$ 台	
	余剰汚泥貯留槽	寸法	縦8.0m $\times$ 横5.5m $\times$ 深4.0m $\times 2$ 槽
		容量	127 $\text{m}^3$
		攪拌機	31 $\text{min}^{-1}$ 11kW、20 $\text{min}^{-1}$ 11kW
	余剰汚泥投入ポンプ	$\phi 100\text{mm} \times 4.5 \sim 13.5\text{m}^3/\text{h} \times 1$ 台、 $\phi 100\text{mm} \times 5 \sim 15\text{m}^3/\text{h} \times 2$ 台	
	濃縮機	遠心濃縮機9 $\text{m}^3/\text{hr}$ 、ベルト濃縮機10 $\text{m}^3/\text{hr}$	
	薬液供給ポンプ(濃縮)	36 $\sim 114\text{L}/\text{hr} \times 2$ 台	
	濃縮余剰汚泥貯留槽	寸法	縦5.5m $\times$ 横3.3 $\times$ 深4.0 $\times 1$ 槽
	濃縮汚泥引抜ポンプ	$\phi 100\text{mm} \times 0.6\text{m}^3/\text{min} \times 20\text{m} \times 2$ 台	
	汚泥貯留槽	寸法	縦5.5m $\times$ 横5.5m $\times$ 深4.0m $\times 1$ 槽、縦5.5m $\times$ 横12.5m $\times$ 深4.0m $\times 1$ 槽
		容量	120 $\text{m}^3$ 、275 $\text{m}^3$
攪拌機		2段羽式 $\phi 2.0 \text{m}$ 、30 $\text{min}^{-1}$ 、 $\phi 2.0 \text{m}$ 、20 $\text{min}^{-1} \times 2$ 基	
汚泥供給ポンプ	$\phi 80\text{mm} \times 8.4\text{m}^3/\text{h} \times 2$ 台、 $\phi 100\text{mm} \times 6 \sim 18\text{m}^3/\text{h} \times 2$ 台		

## 伊那浄水管理センター主要機器一覧表

設備名称	項目		規格性能
汚泥処理設備	排水ポンプ		$\phi 100\text{mm} \times 0.6\text{m}^3/\text{min} \times 20\text{m} \times 2$ 台、 $\phi 100\text{mm} \times 1.2\text{m}^3/\text{min} \times 10\text{m} \times 1$ 台
	脱水機	方式	ベルトプレス式脱水機 $\times 2$ 基、回転加圧脱水機 $\times 1$ 基
		能力	ろ幅1.5 m, ろ過速度130 kg DS /m $\cdot$ hr、120kg-ds/m $^2$ $\cdot$ hr
	薬液供給ポンプ		0.39 $\sim$ 1.17m $^3$ /hr $\times 2$ 台、0.9 $\sim$ 2.7m $^3$ /hr $\times 2$ 台
	ケーキホッパ		20m $^3$ $\times 1$ 基
搬出形態		脱水ケーキ	
脱臭設備	水処理設備	方式	活性炭吸着式
		能力	60 m $^3$ /min (86,400 m $^3$ /日)、75 m $^3$ /min (108,000 m $^3$ /日)
	汚泥処理設備	方式	活性炭吸着式、微生物脱臭式
		能力	18 m $^3$ /min (25,920 m $^3$ /日)
自家発設備	方式	ガスタービン式 /ディーゼル発電機	
	能力	250 kVA 6600V 21.9A 60Hz $\times (2)$ 台 / 260kVA 440V	
砂ろ過・給水設備	井戸ポンプ		1200L/min 30mh 11kW
	井水給水装置		1.6m $^3$ /min 35mh
	消泡水ポンプ		1.0m $^3$ /min 17m
	消火ポンプ		150 $\sim$ 300L/min 56 $\sim$ 59mh
その他附帯設備一式			

## 中継ポンプ場 主要機器一覧表

### 西町ポンプ場

設備名称	項目		規格・性能
ポンプ設備	流入ポンプ		4.5m $^3$ /min $\times 3$ 台
	破砕機	方式	2軸式水路設置
		能力	4.5m $^3$ /min $\times 2$ 台
脱臭設備	方式	活性炭吸着式	
	能力	10 m $^3$ /min	
自家発設備	発電機	方式	ディーゼル式
		能力	100kVA 210V
その他附帯設備一式			

### 山寺ポンプ場

設備名称	項目		規格・性能
ポンプ設備	流入ポンプ		2.7m $^3$ /min $\times 3$ 台
	破砕機	方式	2軸式水路設置
		能力	4.5m $^3$ /min
脱臭設備	方式	活性炭吸着式	
	能力	10 m $^3$ /min	
自家発設備	発電機	方式	ディーゼル式
		能力	75kVA 210V
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 小出島浄化センター主要機器一覧表

設備名称	項目		規格・性能
ポンプ設備	流入ポンプ		$\phi 80\text{mm} \times 1.4\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m} \times 2\text{台}$ ( $2,016\text{ m}^3/\text{日} \times 2$ ) 7.5kw $\times 2$
	除塵設備	方式	円筒スクリーンしき脱水機 1基
		能力	$2.3\text{ m}^3/\text{min}$ ( $3,312\text{ m}^3/\text{日}$ )
反応槽設備	現有最大処理能力		$575\text{ m}^3/\text{日} \times 2\text{池}$
	計画最大処理能力		$1,150\text{ m}^3/\text{日}$
	ディッチ水路		幅4.0m $\times$ 長73m $\times$ 深2.0m $\times 2\text{池}$
	計画滞留時間		24.0 hr
	曝気機		(スクルー型ローター(嫌気好気両用) 1,730rpm、4.5 kW $\times 3\text{基}$ ) $\times 2\text{池}$
	酸素供給能力		1系 $5.26\text{ kg O}_2/\text{hr} \times 3\text{基}$ 2系 $5.79\text{ kg O}_2/\text{hr} \times 3\text{基}$
	最終沈殿池設備	寸法	
容積(表面積)		$170\text{ m}^3 \times 2\text{池}$ ( $57\text{ m}^2 \times 2$ )	
計画滞留時間		7.1 hr	
汚泥掻寄機		2.0m/min	
スカムスキマー		$\phi 250\text{mm} \times 3500\text{m}$	
返送汚泥ポンプ		$\phi 100\text{mm} \times 0.8\text{m}^3/\text{min} \times 4\text{m} \times 2\text{台}$ ( $1,152\text{ m}^3/\text{日} \times 2$ )	
余剰汚泥ポンプ		$\phi 80\text{mm} \times 0.5\text{m}^3/\text{min} \times 8\text{m} \times 2\text{台}$ ( $720\text{ m}^3/\text{日} \times 2$ )	
塩素混和池設備		寸法	
	容量		$14.8\text{m}^3$
	計画滞留時間		19min
	消毒設備		固形塩素剤接触装置
	使用薬剤		固形塩素剤
汚泥棟設備	汚泥濃縮槽	寸法	$\phi 2.2\text{m} \times 3.0\text{m} \times 1\text{基}$
		容量	$11.4\text{ m}^3$
		掻寄機	2.35m/min
	濃縮汚泥引抜ポンプ		$\phi 80\text{mm} \times 0.3\text{m}^3/\text{min} \times 4\text{m} \times 2\text{台}$ ( $432\text{ m}^3/\text{日} \times 2$ )
	汚泥貯留槽	寸法	幅3.0m $\times$ 長3.3m $\times$ 深3.6m $\times 1\text{槽}$ 、幅2.4m $\times$ 長4.2m $\times$ 深3.6m $\times 1\text{槽}$
		容量	$35\text{m}^3 \times 2\text{槽}$
		攪拌機	ルーツフロー $\phi 32\text{mm} \times 0.2\text{m}^3/\text{min} \times 4000\text{mmAq} \times 1\text{基}$ 、水中ミキサー1.5kW $\times 1\text{基}$
	汚泥供給ポンプ		$\phi 80\text{mm} \times 0.3\text{m}^3/\text{hr} \times 8\text{m} \times 2\text{台}$
	返流水ポンプ		$\phi 80\text{mm} \times 0.5\text{m}^3/\text{hr} \times 7\text{m} \times 2\text{台}$ ( $720\text{ m}^3/\text{日} \times 2$ )
	脱水機	方式	多重円板外胴型スクーププレス脱水機
		能力	7kg $\cdot$ ds/時
	ケーキホツパ容量		(なし)
搬出形態		脱水ケーキ	
脱臭設備	方式		活性炭吸着式
	能力		$12\text{ m}^3/\text{min}$ ( $17,280\text{ m}^3/\text{日}$ )
自家発設備	発電機	方式	ディーゼル式
		能力	80 kVA 220V 60Hz
給水装置	用水給水装置		圧力タンク式 $0.3\text{M}^3/\text{min}$ 40m
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 大萱浄化センター主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
沈砂池設備	破砕機	4.04m <sup>3</sup> /min以上	
	除塵設備	方式	脱水機構付ドラム状スクリーン 1基
		能力	4.04m <sup>3</sup> /min以上
反応槽設備	現有最大処理能力	860 m <sup>3</sup> /日×3池	
	計画最大処理能力	3,440 m <sup>3</sup> /日	
	ディッチ水路	幅3.5m×長99.3m×深2.5m×3池	
	計画滞留時間	24.0hr	
	曝気機	スクリー型機械式曝気装置、縦軸型機械式曝気装置	
		(4.5kW×4台(嫌気好気両用)、2.7kW×2台)×2池、11kW×2台×1池	
	酸素供給能力	(好気)7.32kgO <sub>2</sub> /hr×4、8.10kgO <sub>2</sub> /hr×4、4.86kgO <sub>2</sub> /hr×4、16.2kgO <sub>2</sub> /hr×2	
最終沈殿池設備	寸法	φ12m×3.5m×3槽	
	容積(表面積)	395m <sup>3</sup> ×3槽 (113m <sup>2</sup> ×3)	
	計画滞留時間	12.3hr	
	汚泥掻寄機	2.14 m/min	
	スカムスキマー	機械式パイプスキマー φ300mm×4,850mm	
	返送汚泥ポンプ	φ100mm×0.6m <sup>3</sup> /min×5m×6台 (864 m <sup>3</sup> /日×6)	
	余剰汚泥ポンプ	φ80mm×6.5m <sup>3</sup> /h×10m×4台 (156 m <sup>3</sup> /日×4)	
	塩素混和池設備	寸法	幅2.0m×長1m×深0.5m
容量		—	
計画滞留時間		放流渠で接触	
消毒設備		固形塩素剤接触装置	
使用薬剤		固形塩素剤	
汚泥処理設備	汚泥濃縮槽	寸法	φ3.6m×4.5m×側水深3.0m
		容量	46.3 m <sup>3</sup>
		掻寄機	φ3.6m×4.5m×側水深3.0m 2.3m/min
	汚泥貯留槽	寸法	幅2.7m×長4.2m×深4.5m
		容量	46.3 m <sup>3</sup> ×2
		攪拌機	水中ミキサー 2.4 kW
	汚泥供給ポンプ	φ80mm 3.5~10.5m <sup>3</sup> /min 3.75kW×2台	
	薬液供給ポンプ	0.4L/min 0.1kW×2台	
	脱水機	方式	遠心脱水機
		能力	7.0m <sup>3</sup> /hr
	ケーキホッパ容量	10.0m <sup>3</sup>	
搬出形態	脱水ケーキ		
給水設備	上水給水装置	圧力タンク式給水ユニット 0.523/min 4.0m	
	雑用水給水装置		
	処理水ポンプ	φ80mm 0.2m <sup>3</sup> /min 揚程 32m 5.5kW×2台	
脱臭設備	方式	立形カートリッジ式	
	能力	20m <sup>3</sup> /min (28,800 m <sup>3</sup> /日)	
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 殿島浄化センター主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能
ゲート設備	右岸流入ゲート(右岸ゲート室)	φ 1,100mm 1.5kW
	左岸流入ゲート(左岸ゲート室)	φ 1,100mm 1.5kW
	バッテリーカー(左岸ゲート室)	
ポンプ設備	汚水ポンプ(西春近:左岸ゲート室)	φ 100mm×1.1m <sup>3</sup> /min×26m×11kW×2台 (1,584m <sup>3</sup> /日×2)
	汚水ポンプ(東春近)	φ 150mm×2.7m <sup>3</sup> /min×11m×11kW×2台 (3,888m <sup>3</sup> /日×2)
	自動除塵機	方式 スクリーンユニット 1基 能力 4m <sup>3</sup> /min (5,760m <sup>3</sup> /日)、目幅2.5mm、1.6kW
反応槽設備	現有最大処理能力	1,600m <sup>3</sup> /日
	計画最大処理能力	3,200m <sup>3</sup> /日
	ディッチ水路	幅4.5m×長80m×深3.5m×1池
	計画滞留時間	24.0 hr
	曝気機	縦軸型ロータ 羽根径φ 1.9m 15kW×2台
	酸素供給能力	23.5kgO <sub>2</sub> /h×2台
最終沈殿池設備	寸法	φ 16m×3.5 m×1池
	容積(表面積)	700m <sup>3</sup> ×1池 (200m <sup>2</sup> ×1)
	計画滞留時間	10.5hr
	汚泥搔寄機	2.0m/min
	スクラムスキマー	φ 150mm×6,300m
	返送汚泥ポンプ	φ 100mm×1.15m <sup>3</sup> /min×4m×2.2kW×2台 (1,656m <sup>3</sup> /日×2)
	余剰汚泥ポンプ	φ 80mm×0.3m <sup>3</sup> /min×8m×2.2kW×2台(432m <sup>3</sup> /日×2)
塩素混和池設備	寸法	長32m×幅1.2m×深1.0m
	容量	38.4m <sup>3</sup>
	計画滞留時間	15min
	消毒設備	固形塩素剤接触装置
	消泡水ポンプ	φ 80mm×0.3m <sup>3</sup> /min×35m×7.5kW×2台
	消泡水ストレーナー	φ 50mm×0.3m <sup>3</sup> /min×0.4kW 1基
汚泥処理設備	高分子原液移送ポンプ	1台
	無機凝集剤注入ポンプ	1台
	脱水機	方式 多重円板外胴型スクリーブレス脱水機 能力 14kgDS/h
	ケーキホッパ容量	10m <sup>3</sup>
	搬出形態	脱水ケーキ
脱臭設備	方式	活性炭吸着式
	能力	8m <sup>3</sup> /min (11,520m <sup>3</sup> /日)
自家発設備	発電機	方式 ディーゼル式 能力 62.5kVA 210V 60Hz
	給水設備	用水給水装置 圧力タンク式 渦巻ポンプ 0.2m <sup>3</sup> /min×30m×3.7kW×2台
その他附帯設備一式		

(第5条関係)

## 高遠浄化センター主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
ポンプ設備	流入ポンプ	(なし)	
沈砂池設備	粗目スクリーン	巾0.6m×水深1.7m、目幅50mm	
	自動除塵機	外径φ600mm、目幅5mm、3φ×1.5kW×400V×60Hz	
	容量	0.25 m <sup>3</sup>	
	揚砂設備	揚砂ポンプ 0.5m <sup>3</sup> /min 15m 5.5kW	
反応槽設備	現有最大処理能力	2,600 m <sup>3</sup> /日	
	計画最大処理能力	2,600 m <sup>3</sup> /日	
	ディッチ水路	幅4.0m×長131m×深2.5m×2	
	計画滞留時間	24.0 hr	
	曝気機	1系縦軸型ローター、max.46、1rpm、15 kW ×2、22.8kg O <sub>2</sub> /hr×2(VVVF制御) 2系縦軸型ローター、max.46、1rpm、15 kW ×2、22.8kg O <sub>2</sub> /hr×2(VVVF制御)	
	汚泥ポンプ	φ80mm×0.4m <sup>3</sup> /min×12.5m×1 (576 m <sup>3</sup> /日×2) 3.7kW	
最終沈殿池設備	寸法	φ14.4 m×3.0 m×2	
	容積(表面積)	488 m <sup>3</sup> ×2 (163 m <sup>2</sup> ×2)	
	計画滞留時間	8.8 h	
	汚泥掻寄機	2.46 m/min×2	
	スカムスキマー	フロート作動式 φ250×2	
	返送汚泥ポンプ	φ150mm×1.8m <sup>3</sup> /min×4.5m×2(2,592 m <sup>3</sup> /日×2) 3.1kW×2	
	スカム排水ポンプ	φ100(80)mm×0.5m <sup>3</sup> /min×10m×2 720 m <sup>3</sup> /日×2) 2.2kW	
塩素混和池設備	寸法	幅2.0 m×長6.8 m×深2.0 m	
	容量	27.2 m <sup>3</sup>	
	計画滞留時間	16 min	
	消毒設備	水路設置型固形塩素剤接触装置(充填量:70kg)	
	使用薬剤	固形塩素剤	
汚泥処理設備	脱水機	方式	多重板型スクュープレス脱水機 約3.1kw
		能力	21kgDS/h
	ケーキホッパ容量	3 m <sup>3</sup>	
	搬出形態	脱水ケーキ	
給水設備	雑用水給水装置	圧力タンク式自動給水装置	
脱臭設備	方式	活性炭吸着式 立て型カートリッジ式	
	能力	14 m <sup>3</sup> /min (20,160 m <sup>3</sup> /日) 1,300W×1,300L×3,000H	
自家発設備	発電機	方式	ディーゼル式
		能力	125kVA 400V
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 駒ヶ根浄化センター主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
沈砂池設備 (躯体)	寸法	幅1.4m×長1.0m×深1.0m	
	容量	1.4m <sup>3</sup> /池	
	揚砂ポンプ	0.5m <sup>3</sup> /min 揚程7m φ80mm	
最初沈殿池設備 (躯体)	寸法	幅5.0m×長16.0m×深3.0m ×3	
	容量	240 m <sup>3</sup> ×3	
	計画滞留時間	2.7 h	
反応槽設備 (躯体)	現有最大処理能力	10,350 m <sup>3</sup> /日	
	計画最大処理能力	21,600 m <sup>3</sup> /日	
	寸法	幅4.9m×長38m×深5.0m ×4	
	容量	931 m <sup>3</sup> ×4	
	計画滞留時間	9.5 h	
最終沈殿池設備 (躯体)	寸法	幅5.0m×長28m×深3.0m ×4	
	容積(表面積)	420 m <sup>3</sup> ×4 (140 m <sup>2</sup> ×4)	
	計画滞留時間	4.5 h	
塩素混和池設備 (躯体)	寸法		
	容量	105.6 m <sup>3</sup>	
	計画滞留時間	17 min	
汚泥処理設備 (躯体)	汚泥濃縮槽	寸法	φ4.0 m×4.0 m×2
		容量	50.24 m <sup>3</sup> ×2 槽
	汚泥貯留槽	寸法	縦6.0m×横6.0m×深4.4×3槽
		容量	158.4 m <sup>3</sup>
沈砂池ポンプ棟 (機械)	流入ゲート	FC製電動600 <sup>□</sup> ×2基	
	粗目スクリーン	バースクリーン1000W×1基	
	揚砂ポンプ	水中汚泥ポンプφ80×0.5m <sup>3</sup> /分×1台 1.5kw×1	
	細目自動除塵機	間欠式1000W×1台 1.5kw×1	
	し渣搬出機	水平トラフ形600W×5200L×1台 1.5kw×1	
	ポンプ井連絡ゲート	FC製手動600 <sup>□</sup> ×1基	
	汚水ポンプ	着脱式水中汚水汚物φ150×3m <sup>3</sup> /分×8m×2台 7.5kw×2	
	汚水ポンプ	着脱式水中汚水汚物φ200×6m <sup>3</sup> /分×8m×2台 18.5kw×2	
	し渣・沈砂洗浄装置	機械攪拌式 1m <sup>3</sup> /時×1台 <計>5.4kw×1	
	し渣脱水機	スクリー式0.5m <sup>3</sup> /時×1台 <計>4.1kw×1	
	沈砂コンテナ	SUS製角形 台車付 500L 2台	
	し渣コンテナ	SUS製角形 台車付 500L 2台	
	機器吊上装置	ギヤードトリ付手動式チェーンブロック 1ton 1基	
	主ポンプ吊上装置	ギヤードトリ付手動式チェーンブロック 2ton 1基	
	コンテナ吊上装置	電動ホイスト 1ton 吊上1.1kw 走行0.2kw 1基	
	ポンプ井攪拌機	水中ミキサφ250×2台 11kw×2	
	点検用チェーンブロック	ギヤードトリ付ジブクレーン 1ton×1基	
	ミストセパレーター	水平阻波板 慣性衝突式 30m <sup>3</sup> /分	
	脱臭ファン	ターボファン 30m <sup>3</sup> /分×220mmAg×1台 2.2kw×1	
	脱臭装置	活性炭吸着塔 30m <sup>3</sup> /分×1基	
	手動弁	手動仕切弁 φ600×1基	

(第5条関係)

## 駒ヶ根浄化センター主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能
水処理棟 (機械)	分水槽可動堰	鋳鉄製手動式1000W×500ストローク×2基
	初沈流入可動堰	鋳鉄製手動式500W×500ストローク×2基
	初沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式5000W×16000L×3台 0.4kw×3
	初沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁Φ150×3基 0.2kw×3
	生汚泥ポンプ	吸込スクリー付汚泥ポンプΦ100×0.6m <sup>3</sup> /分×10m×2台 3.7kw×2
	初沈スカム移送ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプ Φ100×0.6m <sup>3</sup> /分×10m×2台 5.5kw×2
	初沈池排水ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプ Φ100×0.6m <sup>3</sup> /分×8m×1台 5.5kw×1
	流入水路散気装置	固定式多孔管 50A×2500L×3ヶ所
	初沈管廊排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ65A×0.3m <sup>3</sup> /分×10m×1台 1.5kw×1
	No.1バイパスゲート	鋳鉄製手動式500W×600H×1基
	No.2バイパスゲート	鋳鉄製手動式500W×600H×1基
	No.3バイパスゲート	鋳鉄製手動式500W×600H×1基
	流出水路散気装置	固定式多孔管 50A×2500L×4ヶ所
	初沈搬入用チェンブロック	ギヤードトオリ付チェンブロック 1ton 1基
	反応タンク流入可動堰	鋳鉄製手動式400W×400ストローク×4基
	ステップ投入可動堰	鋳鉄製手動式400W×400ストローク×16基
	返送汚泥流入可動堰	鋳鉄製手動式400W×400ストローク×4基
	反応タンク攪拌機	水中機械式攪拌機送風量5.5Nm <sup>3</sup> /分×8台 3.7kw×8
	反応タンク攪拌機	水中機械式攪拌機送風量2.9Nm <sup>3</sup> /分×2台 2.2kw×2
	反応タンク攪拌機	水中機械式攪拌機送風量3.3Nm <sup>3</sup> /分×2台 3.7kw×2
	反応タンク攪拌機	水中機械式攪拌機送風量5.0Nm <sup>3</sup> /分×4台 5.5kw×4
	風量調整弁	電油操作式蝶型弁200A×4台 0.4kw×4
	返送汚泥水路散気装置	固定式多孔管 50A×1500L×4ヶ所
	反応タンク管廊排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ65A×0.3m <sup>3</sup> /分×10m×1台 1.5kw×1
	終沈流入ゲート	鋳鉄製手動式500W×500H×4基
	終沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式5000W×28000L×3台 0.75kw×3
	終沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式5000W×28000L×1台 0.4kw×1
	終沈スカムスキマ	電動式パイプスキマΦ250×4600L×4基 0.2kw×4
	終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁Φ200×4基 0.2kw×4
	返送汚泥ポンプ	吸込スクリー付汚泥ポンプΦ150×2.0m <sup>3</sup> /分×7m×4台
	余剰汚泥引抜弁	電動偏心構造弁Φ100×2基 0.2kw×2
	余剰汚泥ポンプ	吸込スクリー付汚泥ポンプΦ100×0.6m <sup>3</sup> /分×10m×4台 3.7kw×2
	終沈スカム移送ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプΦ100×0.6m <sup>3</sup> /分×10m×2台 5.5kw×2
	終沈池排水ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプΦ100×0.6m <sup>3</sup> /分×10m×1台 5.5kw×1
	終沈管廊排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ65A×0.3m <sup>3</sup> /分×10m×1台 1.5kw×1
	終沈搬入用チェンブロック	ギヤードトオリ付チェンブロック 1ton 1基
	塩素混和池バイパスゲート	鋳鉄製手動式800W×800H×1基
	塩素混和池流入ゲート	鋳鉄製手動式800W×800H×1基
	次亜塩貯留タンク	FRP製円筒3m <sup>3</sup> ×1基
	次亜塩注入ポンプ	定量ダイヤフラム0.28ℓ/分×0.5kg/cm <sup>2</sup> ×3台 0.2kw×3
	塩混池排水ポンプ	着脱式水中汚水汚物Φ80×0.5m <sup>3</sup> /分×10m×1台 3.7kw×1
	脱臭ファン	ターボファン 50m <sup>3</sup> /分×2台 3.7kw×2
脱臭装置	活性炭吸着塔 50m <sup>3</sup> /分×2基	
吸着剤搬入用チェンブロック	ギヤードトオリ付チェンブロック 1ton 2基	
送風機	ルーツ式ブロー150A×15m <sup>3</sup> /分×6000mmAg×2台 30kw×2	
送風機	ルーツ式ブロー150A×30m <sup>3</sup> /分×6000mmAg×2台 55kw×2	
点検用クレーン	サスペンション形 2.0ton 1基	
原水槽流入ゲート	鋳鉄製手動式800W×800H×1基	
消泡水ポンプ	片吸込渦巻ポンプΦ100×1.4m <sup>3</sup> /分×25m×2台 11kw×2	
消泡用水用ストレーナー	自動洗浄形Φ100×1基 0.4kw×1	
井戸水ポンプ	水中モーターΦ50×0.3m <sup>3</sup> /分×20m×1台 3.7kw×1	
ろ過水給水ユニット	圧力式Φ50×0.3m <sup>3</sup> /分×3kg/cm <sup>2</sup> ×1台 3.7kw×2×1	
ろ過送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプΦ50×0.5m <sup>3</sup> /分×10m×2台 2.2kw×2	

(第5条関係)

## 駒ヶ根浄化センター主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
重力濃縮槽 スクリーン棟 (機械)	破砕機	インライン型 1.2m <sup>3</sup> /分×1台 3.7kw×1	
	分配可動堰	手動式鑄鉄製角形外ねじ式300W×300S×2基	
	重力濃縮槽汚泥掻寄機	中心駆動形4mΦ×4m×2台 0.4kw×2	
	汚泥引抜弁	電動偏心弁Φ150×2基 0.2kw×1	
	汚泥引抜ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプΦ100×0.6m <sup>3</sup> /分×12m×2台 7.5kw×2	
	スカム分離機	回転スクリーン1.2m <sup>3</sup> /分×1台 0.4kw×1	
	スカム脱水機	スクリーユ式0.5m <sup>3</sup> /時×1台 2.2+1.5kw×1台	
	スカムコンテナ搬入用チェーンブロック	ウォール形0.5ton×1基	
	床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ65A×0.3m <sup>3</sup> /分×10m×1台 1.5kw×1	
	搬入用チェーンブロック	ギヤードトリ付手動式1.0ton×1基	
汚泥棟 (機械)	汚泥貯留槽流入弁	空気動作偏心弁Φ150×1基	
	汚泥貯留槽攪拌機	縦軸ミキサーΦ1850×3基 5.5kw×3	
	汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプΦ65×10m <sup>3</sup> /時×20m×2台 3.7kw×2	
	スクリーユ用汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプΦ100×4.0~22.0m <sup>3</sup> /時×25m×2台 5.5kw×2	
	脱水機	ベルトプレス1.5m×1台 3.7kw×1	
	脱水機	圧入式スクリーユプレス脱水機Φ700×1台 2.2+1.5kw×1	
	ケーキ搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ600W×19000L×2台 1.5kw×2	
	ケーキホッパ	電動式8m <sup>3</sup> ×1基 1.5kw×2×1	
	ケーキホッパ	電動式12m <sup>3</sup> ×1基 1.5kw×2×1	
	薬品コンテナ	据置式 0.3m <sup>3</sup>	
	薬品定量フィーダ	容積式1.2L/分×1台 0.4kw×1	
	薬品定量フィーダ	可変連続定量供給機最大2.0L/分×1台 0.4kw×1	
	薬液溶解タンク	鋼板製円筒タンク4m <sup>3</sup> ×1基 2.2kw×1	
	薬液溶解タンク	立形攪拌槽7m <sup>3</sup> ×1基 3.7kw×1	
	薬品供給ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプΦ32×1.2m <sup>3</sup> /時×2台 0.75kw×2	
	スクリーユ用薬品供給ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプΦ50×0.45~4.9m <sup>3</sup> /時×25m×2台 2.2kw×2	
	薬品コンテナ搬入用ホイスト	電動式0.5ton×1基 2.2+0.2kw×1	
	ろ布洗浄水ポンプ	片吸込多段渦巻ポンプΦ40×0.2m <sup>3</sup> /分×60m×2台 5.5kw×2	
	脱水機洗浄ポンプ	片吸込多段渦巻ポンプΦ40×0.2m <sup>3</sup> /分×50m×2台 3.7kw×2	
	受水槽流入弁	空気作動偏心弁Φ150×1基	
	圧力給水ユニット	Φ50×0.3m <sup>3</sup> /分×0.3MPa×1台 3.7kw×2×1	
	空気圧縮機	圧力開閉器式400L/分×2台	
	除湿器	冷凍式アフタークーラー500L/分以上×1台 0.87kw×1	
	点検用チェーンブロック	ギヤードトリ付手動式2.0ton×2基	
	点検用チェーンブロック	ギヤードトリ付手動式1.0ton×1基	
	搬入用チェーンブロック	ギヤードトリ付手動式2.0ton×2基	
	床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプΦ85×0.3m <sup>3</sup> /分×10m×2台 1.5kw×2	
	脱臭ファン	ターボファン 20m <sup>3</sup> /分×200mmAg×1台 1.5kw×1	
	脱臭ファン	ターボファン 20m <sup>3</sup> /分×3.24KPa×1台 5.5kw×1	
	生物脱臭装置	角形充填塔式生物脱臭装置40m <sup>3</sup> /分×1基 1Φ×100V	
脱臭装置	活性炭吸着塔(カートリッジ式)20m <sup>3</sup> /分×2基		
脱臭用チェーンブロック	ギヤードトリ付手動式1.0ton×1基		
切換ダンパ	樹脂製電動蝶形弁Φ400×3基 1Φ×100V		
自家発電機	発電機	方式	ガスタービン式(ブラシレス励磁式)
		能力	375kVA、6600V
その他付帯設備一式			

(第5条関係)

## 辰野水処理センター主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
ポンプ設備	流入ポンプ	(なし)	
沈砂池設備	除塵設備 (沈砂池)	方式 ベルト走行式 細目自動除塵機 (目幅20mm) 能力 3.5m <sup>3</sup> /min	
	除塵設備 (B2系)	方式 連続式細目自動除塵機(目幅2mm)+し渣移送ポンプ 能力 2,500m <sup>3</sup> /日 ポンプ: φ50mm×0.13m <sup>3</sup> /min×4.5m	
	沈砂池	寸法 幅1.0m×長2.3m×深0.12m	
		容量 0.71m <sup>3</sup>	
	揚砂設備	φ80mm×0.5m <sup>3</sup> /min×17m	
反応槽設備	現有最大処理能力	7,240m <sup>3</sup> /日	
	計画最大処理能力	8,300m <sup>3</sup> /日	
	ディッチ水路	A-1、2系	幅4.5m×長114m×深2.5m×4池
		B-1系	幅5.5m×長160m×深3.0m×1池
	生物反応槽	B-2系 幅5.5m×長68m×深3.0m×2池 特殊繊維担体24ユニット	
	原水槽脱臭装置	ドラム活性炭塔350L ターボ型送風機	
	PAC注入設備	ダイヤフラム定量ポンプ0.6L/min×2台 タンク容量3,000L	
	苛性ソーダ注入設備	ダイヤフラム定量ポンプ3mL/min×2台 タンク容量500L 移送ポンプ60L/min×12m	
	混和槽攪拌機	縦軸攪拌機10~40rpm×2台	
	計画滞留時間	28.7hr	
	曝気機	A-1系	横軸型ローター max.71rpm、11kW×2台 15kW×2台
		A-2系	スクリー型ローター(嫌気好気両用)1,730rpm、4.5kW×4台、9.0kW×4台
		B-1系	縦軸型ローター max43.2rpm、22kW×2台
		B-2系	ルーツブローア-26N <sup>3</sup> /min 37kW×3台
	酸素供給能力	A-1系	14.8kgO <sub>2</sub> /hr×4
		A-2系	SRA45:7.32kgO <sub>2</sub> /hr×4、SRA90:14.8kgO <sub>2</sub> /hr×4
		B-1系	34.9kgO <sub>2</sub> /hr×2
B-2系		26N <sup>3</sup> /min	
最終沈殿池設備	寸法	A-1,2系: φ13.0m×3.5m×4、B-1,2系: φ18.0m×3.5m	
	容積(表面積)	A-1,2系:465m <sup>3</sup> ×4(133m <sup>2</sup> ×4)、B-1,2系:890m <sup>3</sup> ×2(254m <sup>2</sup> ×2)	
	計画滞留時間	6~12hr	
	汚泥掻寄機	A-1,2系:2.0m/min×4、B-1,2系:2.46m/min	
	スカムスキマー	パイプスキマーA-1,2系: φ450mm×6,335mm、B-1,2系: φ300×7,000mm	
	返送汚泥 ポンプ	A-1系	φ150mm×1.8m <sup>3</sup> /min×6m×2台 (2,592m <sup>3</sup> /日×2)
		A-2系	φ150mm×1.8m <sup>3</sup> /min×6m×2台 (2,592m <sup>3</sup> /日×2)
		B-1系	φ150mm×1.7m <sup>3</sup> /min×6m×2台 (2,448m <sup>3</sup> /日×2)
	余剰汚泥 ポンプ	A-1系	φ100mm×0.5m <sup>3</sup> /min×7m×2台 (720m <sup>3</sup> /日×2)
		A-2系	φ100mm×0.5m <sup>3</sup> /min×7m×2台 (720m <sup>3</sup> /日×2)
B-1系		φ80mm×6.5m <sup>3</sup> /hr×10m×2台 (156m <sup>3</sup> /日×2)	
返送余剰ポンプ	B-2系 φ65mm×4.2m <sup>3</sup> /hr×10m×2台 (100m <sup>3</sup> /日×2)		
塩素混和池設備	寸法	幅2.0m×長29m×深1.5m	
	容量	87m <sup>3</sup>	
	計画滞留時間	15min	
	消毒設備	注入ポンプ×2台(No.1:モノポンプ、No.2:ダイヤフラム、放流流量制御による)	
	使用薬剤	次亜塩素酸ナトリウム	

## 辰野水処理センター主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
汚泥処理設備	汚泥濃縮槽	寸法	φ 5.0m×3.0m×2
		容量	15m <sup>3</sup> ×2槽
		掻寄機	2.6m/min
	濃縮汚泥引抜ポンプ		φ 100mm×0.5m <sup>3</sup> /min×7m×2台 (720m <sup>3</sup> /日×2)
	汚泥貯留槽	寸法	縦4.5m×横4.5m×深4.0m×2槽
		容量	81m <sup>3</sup> ×2槽
		攪拌機	φ 200mm、1700rpm×2台
	汚泥供給ポンプ		φ 65mm×8m <sup>3</sup> /hr×20m×2台 φ 100mm×22m <sup>3</sup> /hr×20m×1台
	返流水ポンプ		φ 80mm×0.5m <sup>3</sup> /min×10m×2台 (720m <sup>3</sup> /日×2)
	薬液供給ポンプ		φ 20mm×0.03m <sup>3</sup> /min×20m×2台 φ 50mm×0.05m <sup>3</sup> /hr×20m×1台
	脱水機	方式	遠心脱水機
能力		5m <sup>3</sup> /hr×1台 10m <sup>3</sup> /hr×1台	
ケーキホッパ容量		8m <sup>3</sup>	
搬出形態		脱水ケーキ	
給水設備	上水給水ユニット	圧力タンク式 0.35m <sup>3</sup> /hr	
	雑用水ポンプ	水中渦巻きポンプ 0.35m <sup>3</sup> /hr	
	能力	30m <sup>3</sup> /min (43,200m <sup>3</sup> /日)(汚泥棟)・22m <sup>3</sup> /min(31,680m <sup>3</sup> /日)(沈砂池棟)	
自家発設備		(なし)	
脱臭設備	方式	活性炭吸着式 立型カートリッジ式	
	能力	22m <sup>3</sup> /min(沈砂池) 30m <sup>3</sup> /min(汚泥棟)	
その他附帯設備一式			

## 中継ポンプ場 主要機器一覧表

### 辰野中継ポンプ場

設備名称	項目	規格・性能	
ポンプ設備	流入ポンプ	1.4m <sup>3</sup> /min×11m×2台、0.7m <sup>3</sup> /min×11m	
	除塵設備	方式	ベルト走行式 細目自動除塵機 (目幅30mm)
		能力	3m/min
脱臭設備	方式	活性炭吸着式	
	能力	10m <sup>3</sup> /min	
自家発設備	発電機	方式	ディーゼル式
		能力	50kVA 210V
その他附帯設備一式			

### 平出中継ポンプ場

設備名称	項目	規格・性能	
ポンプ設備	流入ポンプ	1.4m <sup>3</sup> /min×15m、0.7m <sup>3</sup> /min×11m	
	除塵設備	方式	ベルト走行式 細目自動除塵機 (目幅30mm)
		能力	3m/min
脱臭設備	方式	活性炭吸着式	
	能力	10m <sup>3</sup> /min	
自家発設備	発電機	方式	ディーゼル式
		能力	75kVA 210V
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 小野水処理センター主要機器一覧表

設備名称	項目		規格・性能
ポンプ設備	流入ポンプ		$\phi 100\text{mm} \times 1.3\text{m}^3/\text{min} \times 10\text{m} \times 3\text{台}$ (1,872 m <sup>3</sup> /日×3)
	除塵設備	方式	円筒スクリーン脱水装置
		能力	4.0 m <sup>3</sup> /min (5,760 m <sup>3</sup> /日)
反応槽設備	現有最大処理能力		1,065 m <sup>3</sup> /日×2池
	計画最大処理能力		2,130 m <sup>3</sup> /日
	ディッチ水路		幅4.0m×長110.5m×深2.5m×2池
	計画滞留時間		24.0h
	曝気機		スクレ-型ローター(嫌気好気両用) 1,730 rpm、9.0 kW×4台、4.5 kW×4台
	酸素供給能力		14.8 kg O <sub>2</sub> /hr×4、7.3 kg O <sub>2</sub> /hr×4
最終沈殿池設備	寸法		$\phi 13.0\text{ m} \times 3.5\text{ m} \times 2$
	容積(表面積)		464 m <sup>3</sup> ×2 (133 m <sup>2</sup> ×2)
	計画滞留時間		10.5 h
	汚泥掻寄機		2.3 m/min
	スカムスキマー		パイプスキマー $\phi 450\text{mm} \times 6,335\text{mm} \times 2$
	スカム移送ポンプ		$\phi 65\text{mm} \times 0.5\text{m}^3/\text{min} \times 1.5\text{kw} \times 2\text{台}$
	返送汚泥ポンプ		$\phi 100\text{mm} \times 0.8\text{m}^3/\text{min} \times 5\text{m} \times 4\text{台}$ (1,152 m <sup>3</sup> /日×4)
	余剰汚泥ポンプ		$\phi 80\text{mm} \times 6\text{m}^3/\text{h} \times 3\text{m} \times 2\text{台}$ (144 m <sup>3</sup> /日×2)
塩素混和池設備	寸法		幅1.2 m×長19.2 m×深1.0 m
	容量		23 m <sup>3</sup>
	計画滞留時間		15 min
	消毒設備		固形塩素剤接触装置
	使用薬剤		固形塩素剤
汚泥処理設備	脱水方式		多重円板型脱水機
	脱水能力		7kgDS/h×2本
	ケーキホッパ		10m <sup>3</sup>
	搬出形態		脱水ケーキ
脱臭設備	方式		立形活性炭吸着式
	能力		10 m <sup>3</sup> /min (14,400 m <sup>3</sup> /日)
自家発設備	発電機	方式	ディーゼル式
		能力	100kVA 210V
給水設備	雑用水給水装置		0.3m <sup>3</sup> /h×20m×2 5.5kW
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 箕輪浄水苑 主要機器一覧表

設備名称	項目		規格・性能
沈砂池設備	寸法		500×600×360
	容量		100m <sup>3</sup>
	沈砂掻寄機		スクリーコンベア式 0.008m <sup>3</sup> /h以上
	揚砂設備		φ100 0.5m <sup>3</sup> ×17m 7.5kW
ポンプ設備	流入ポンプ		φ150 mm×2.5 m <sup>3</sup> /min×12 m×2台 (3,600 m <sup>3</sup> /日 ×2) φ150×4.3m <sup>3</sup> ×10m×2台
	除塵設備	方式	ダブルチェーン式背面掻き揚げ形
		能力	目幅5mm×W800×H2,800 角度60°
反応槽設備	現有最大処理能力		7,550m <sup>3</sup> /日
	計画最大処理能力		11,500 m <sup>3</sup> /日
	ディッチ水路		幅4 m×長115 m×深2.5 m×2 幅5.5×長160m×深3m×2
	計画滞留時間		24.0 h
	曝気機		縦軸型ロータ、max.49.3rpm 11 kW×4台、36.8rpm 22kW×2台、39rpm 30kW×2台
	酸素供給能力		20 kg O <sub>2</sub> /hr×4、36.7kgO <sub>2</sub> /hr×2、48.9kgO <sub>2</sub> /hr×2
最終沈殿池設備	寸法		φ13.6m×4m×2、φ20.5m×4m×2
	容積(表面積)		580m <sup>3</sup> ×2 (145 m <sup>2</sup> ×2)、1,320 m <sup>3</sup> ×2 (330m <sup>2</sup> ×2)
	計画滞留時間		10 h
	汚泥掻寄機		2.1 m/min、2.3m/min、2.13m/min
	スカムスキマー		パイプスキマー φ200 mm×3,870mm、φ300 mm×8,600mm
	返送汚泥ポンプ		1系: φ100 mm×0.8 m <sup>3</sup> /min×3.5 m×4台 (1,152 m <sup>3</sup> /日 ×4) 2,3系: φ150 mm×1.8 m <sup>3</sup> /min×5.0 m×4台 (2,590 m <sup>3</sup> /日 ×4)
	余剰汚泥ポンプ		φ100 mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×1 m×2台 (720 m <sup>3</sup> /日 ×2)
	汚泥移送ポンプ(2,3系)		φ100 mm×0.6m <sup>3</sup> /min×17.5 m×3台 (864 m <sup>3</sup> /日 ×3)
	塩素混和池設備	寸法	
容量		24 m <sup>3</sup>	
計画滞留時間		15 min	
消毒設備		次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプ×2台(放流流量比率制御)	
使用薬剤		次亜塩素酸ナトリウム	
汚泥棟設備	汚泥濃縮槽	寸法	φ4.1m×3.05m×1
		容量	40 m <sup>3</sup>
		掻寄機	2.3m/min
	濃縮汚泥引抜ポンプ		φ80 mm×φ100×0.5m <sup>3</sup> /min×3.0m×2台
	汚泥貯留槽	寸法	縦6.0 m×横6.0 m×深2.5 m×2
		容量	90 m <sup>3</sup> ×2
		攪拌機	空気量140 m <sup>3</sup> /h (3,360 m <sup>3</sup> /h)
	汚泥供給ポンプ		φ80 mm×10.5m <sup>3</sup> /h×20 m×2台 (264 m <sup>3</sup> /日 ×2)
	返流水ポンプ		φ100 mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×8 m×2台 (720 m <sup>3</sup> /日 ×2)
	薬液供給ポンプ		φ32 mm×1.2 m <sup>3</sup> /h×20 m×2台 (28.8 m <sup>3</sup> /日 ×2)
	脱水機	方式	遠心脱水機、多重円板外胴型スクーププレス脱水機
		能力	遠心:5 m <sup>3</sup> /h、スクーププレス:21kgDS/hr(3軸型)×2台(ケーキコンヘア有)
	ケーキホツパ容量		7 m <sup>3</sup> 、10m <sup>3</sup>
搬出形態		脱水ケーキ	
脱臭設備	汚泥棟	方式	活性炭吸着式
		能力	20 m <sup>3</sup> /min (28,800 m <sup>3</sup> /日)
	沈砂池	方式	活性炭吸着式
		能力	16 m <sup>3</sup> /min (23,040 m <sup>3</sup> /日)
自家発設備	発電機	方式	ディーゼル式
		能力	200kVA 420V 27.5A 60Hz
給水設備	雑用水給水装置		圧力タンク給水ユニット 0.52m <sup>3</sup> /min 4.0m
	井戸ポンプ		0.06m <sup>3</sup> /min 10m
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 飯島浄化センター主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
ポンプ設備	流入ポンプ	(なし)	
	除塵設備	方式	細目自動除塵機 荒目スクリーン
		能力	1.5kW
沈砂池設備	寸法	(なし)	
	容量	(なし)	
	揚砂設備	(なし)	
反応槽設備	現有最大処理能力	1,400 m <sup>3</sup> /日	
	計画最大処理能力	2,100 m <sup>3</sup> /日	
	水路	1系	幅 4.5 m × 長 128 m × 深 2.5 m × 1池
		2系	(なし)
	計画滞留時間	1系 24.0h	
	曝気機	1系	縦軸型ローター max.51 rpm、15.0 kW × 2台
		2系	(なし)
酸素供給能力	22.8kg・O <sub>2</sub> /h		
最終沈殿池設備	寸法	1系	φ 15.0 m × 3.5 m × 1池
		2系	(なし)
	容積 (表面積)	1系	618 m <sup>3</sup> (177 m <sup>2</sup> )
		2系	(なし)
	計画滞留時間	1系 8.0 h	
	汚泥掻寄機	1系	2.1 m/min
		2系	(なし)
	スカム スキマー	1系	電動式パイプスキマー φ 300 mm × 6,475 mm
		2系	(なし)
	返送汚泥 ポンプ	1系	φ 100 mm × 1.0 m <sup>3</sup> /min × 6.5 m × 2台 3.7kW
		2系	(なし)
余剰汚泥 ポンプ	1系	φ 80 mm × 10.3 m <sup>3</sup> /h × 10 m × 2台 (720 m <sup>3</sup> /日 × 2) 2.2kW	
	2系	(なし)	
塩素混和池設備	寸法	幅 1.2 m × 長 25.0 m × 深 1.0 m	
	容量	30 m <sup>3</sup>	
	計画滞留時間	35 min	
	消毒設備	固形塩素剤接触装置	
	使用薬剤	固形塩素剤	
汚泥処理設備	汚泥濃縮槽	寸法	4.0m × 3.5m
		容量	44m <sup>3</sup> × 1槽
		掻寄機	0.4kW
	濃縮汚泥引抜ポンプ		φ 80 mm × 0.3 m <sup>3</sup> /min × 6 m × 2台 (720 m <sup>3</sup> /日 × 2)
	汚泥貯留槽	寸法	3.0m × 4.5m × 4.0m
		容量	54m <sup>3</sup>
		攪拌機	2.5kW
	汚泥供給ポンプ		φ 80 0.3m <sup>3</sup> /min 12m 3.75kW
	排水ポンプ		φ 100 1.0m <sup>3</sup> /min 15m 7.5kW × 2台
	薬液供給ポンプ		40A 12L/min 40m 0.75kW
	脱水機	方式	移動脱水車 (造粒濃縮ベルトプレス型移動脱水車)
		能力	100~150kg DS/hr
	ケーキホッパ容量		なし
搬出形態		脱水ケーキ	
給水設備	上水給水ポンプ	自動給水ユニット 0.15m <sup>3</sup> /min 40m × 2台	
	雑用水ポンプ	水中汚物 0.4m <sup>3</sup> /min 1.5kW × 2台	
脱臭設備	方式	脱臭剤吸着式(ポンプ室) 簡易脱臭ファン(汚泥棟)	
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 七久保浄化センター主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
ポンプ設備	流入ポンプ	3.7kW φ100mm×0.9m <sup>3</sup> /min×12m×2台 (1,152 m <sup>3</sup> /日 ×2)	
	除塵設備	方式	脱水機構付自動スクリーン
		能力	0.9kW 2.5m <sup>3</sup> /min (3,600m <sup>3</sup> /日)
沈砂池設備	寸法	(なし)	
	容量	(なし)	
	揚砂設備	(なし)	
反応槽設備	現有最大処理能力	800m <sup>3</sup> /日	
	計画最大処理能力	767m <sup>3</sup> /日	
	ディッチ水路	幅5.1m×長52.3m×深3.0m×1池	
	計画滞留時間	25.1 h	
	曝気機	スクリュー型ローター(嫌気好気両用) 1,730 rpm、4.5 kW ×4台	
	酸素供給能力	2.0kg O <sub>2</sub> /hr×4	
最終沈殿池設備	寸法	φ11.3m×3.0 mH×1池	
	容積(表面積)	300.8 m <sup>3</sup> ×1 (100.2m <sup>2</sup> ×1)	
	計画滞留時間	9.41 h	
	汚泥掻寄機	中央駆動チェーン吊下式 0.4kW	
	スカムスキマー	パイプスキマー集水装置 φ300mm	
	返送汚泥ポンプ	1.5kW φ80mm×0.56m <sup>3</sup> /min×4m×2台	
	余剰汚泥ポンプ	(なし)	
塩素混和池設備	寸法	幅1.2 m×長10.05m×深0.695 m	
	容量	8.4m <sup>3</sup>	
	計画滞留時間	15.7min	
	消毒設備	固形塩素剤接触装置	
	使用薬剤	固形塩素剤	
汚泥処理設備	汚泥濃縮槽	寸法	2.5 m×2.5 m×3.8mH×1槽
		容量	23.75m <sup>3</sup>
		掻寄機	0.4kW
	濃縮汚泥引抜ポンプ		1.5kW φ65mm×0.1m <sup>3</sup> /min×5m×1台 (144m <sup>3</sup> /日)
	汚泥貯留槽	寸法	4.0m×4.0m×2.7 m×1
		容量	43.2m <sup>3</sup>
		攪拌機	水中ミキサ 1.5kW×1台
	汚泥供給ポンプ		3.7kW φ80mm×0.3m <sup>3</sup> /min×7m×1台
	返流水ポンプ		(なし)
	薬液供給ポンプ		(なし)
	脱水機	方式	移動脱水車
		能力	100~150kgDs/h
	ケーキホッパ容量		(なし)
搬出形態		脱水ケーキ	
脱臭設備	方式	立型上向流吸着方式	
	能力	0.54m <sup>3</sup> /min	
給水設備	方式	圧力タンク式自動給水装置	
	能力	5.5kW φ65mm×0.32m <sup>3</sup> /min×20m×2台	
	方式	水中汚水ポンプ	
	能力	φ65mm×0.32m <sup>3</sup> /min×13m×1.5kW×2台	
	方式	自動洗浄ストレーナー	
能力	φ80mm×0.32m <sup>3</sup> /min×0.4kW		
可搬式発電機	発電機	方式	ディーゼル式
		能力	45kVA 210V
汚泥減量化設備 (月一回の動作確認のみ)	複合発酵槽		25m <sup>3</sup> ×1 10m <sup>3</sup> ×2槽
	ミキシングタンク		×2
	培養液タンク		10m <sup>3</sup> ×1
	導入ポンプ		2.2kW φ40mm×0.12m <sup>3</sup> /min×15m×2台
	リターンポンプ		2.2kW φ40mm×0.12m <sup>3</sup> /min×15m×2台
	培養液ポンプ		0.025kW 0.17L/min×0.5MPa×2台
	複合発酵ブロワ		2.2kW φ65mm×1.83m <sup>3</sup> /min×3000mmAq×1台
	サンドフィルタ		流動床式 φ2.3m×6m
	サンドフィルタポンプ		2.2kW φ80mm×0.54m <sup>3</sup> /min×10m×2台
	コンプレッサー		1.5kW 165L/min×0.93MPa×1台
	処理水還元ポンプ		0.4kW φ50mm×0.1 m <sup>3</sup> /min×8m×1台
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 南箕輪浄化センター主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
ポンプ設備	流入ポンプ	$\phi 150\text{mm} \times 1.65\text{m}^3/\text{min} \times 14\text{m} \times 2\text{台}$ 、 $\phi 150\text{mm} \times 3.25\text{m}^3/\text{min} \times 14\text{m} \times 2\text{台}$	
	除塵設備	方式	ダブルチェーン式背面掻揚形
		能力	目幅2.5mm W1,000mm×H2,800 角度60° 0.4kW
沈砂池設備	容量	900m <sup>3</sup>	
	揚砂設備	なし	
反応槽設備	現有最大処理能力	6,000 m <sup>3</sup> /日	
	計画最大処理能力	9,000 m <sup>3</sup> /日	
	ディッチ水路	1系:幅5.5m×長88.3m×深3.0m×2池	
		2系:幅5.5m×長177m×深3.0m×1池	
	計画滞留時間	27.2 hr	
	曝気機	1系:スクリー型ローター、1,730 rpm 9.0kW×6基(嫌気好気両用)、5.5kW×2基(好気専用)	
		2系:縦軸形ローター、50.7rpm 30kW×2基	
酸素供給能力	1系:(嫌気好気両用)14.8 kg O <sub>2</sub> /hr×6、(好気専用)10.4 kg O <sub>2</sub> /hr×2		
	2系:41.7kg O <sub>2</sub> /日×2		
最終沈殿池設備	寸法	1系: $\phi 16\text{ m} \times 3.5\text{ m} \times 2\text{池}$	
		2系: $\phi 22\text{ m} \times 3.5\text{ m} \times 1\text{池}$	
	容積(表面積)	1系:700m <sup>3</sup> ×2池(200m <sup>2</sup> ×2)	
		2系:1,330m <sup>3</sup> (380m <sup>2</sup> )	
	計画滞留時間	7.3 hr	
	汚泥掻寄機	1系:2.0 m/min	
		2系:1.86 m/min	
	スカムスキマー	1系:電動式パイプスキマー $\phi 300\text{mm} \times 5,200\text{mm}$	
		2系:電動式パイプスキマー $\phi 300\text{mm} \times 7,500\text{mm}$	
返送汚泥ポンプ	1系: $\phi 100\text{mm} \times 1.5\text{m}^3/\text{min} \times 7\text{m} \times 3\text{台}$ (2,160 m <sup>3</sup> /日×3)		
	2系: $\phi 150\text{mm} \times 2.1\text{m}^3/\text{min} \times 3\text{m} \times 2\text{台}$ (3,024 m <sup>3</sup> /日×2)		
汚泥移送ポンプ	1系: $\phi 100\text{ mm} \times 0.6\text{m}^3/\text{min} \times 14\text{m} \times 2\text{台}$ (864 m <sup>3</sup> /日×2)		
	2系: $\phi 100\text{ mm} \times 0.6\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m} \times 2\text{台}$ (864 m <sup>3</sup> /日×2)		
塩素混和池設備	寸法	幅2.0 m×長24 m×深2.0 m	
	容量	96 m <sup>3</sup>	
	計画滞留時間	15 min	
	消毒設備	ダイヤフラム式次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ×2(放流流量比率制御)	
	使用薬剤	固形塩素(次亜塩素酸ナトリウム)	
汚泥処理設備	脱水機	方式	多重円板外胴型スクーププレス脱水機
		能力	28kgDS/hr(4軸型)×2基
	ケーキホッパ容量	12m <sup>3</sup>	
	搬出形態	脱水ケーキ	
脱臭設備	第2汚泥棟	方式	活性炭吸着式
		能力	12 m <sup>3</sup> /min (17,280 m <sup>3</sup> /日)
	沈砂池棟	方式	活性炭吸着式
		能力	16 m <sup>3</sup> /min (23,040 m <sup>3</sup> /日)
自家発設備	発電機	方式	ディーゼル式
		能力	250 kVA 420V 60Hz
給水設備	雑用水給水装置	圧力タンク式 $\phi 60 \times 0.24\text{m}^3/\text{min} \times 1\text{台}$	
		圧力タンク式 $\phi 80 \times 0.62\text{m}^3/\text{min} \times 1\text{台}$	
	井戸ポンプ	0.5m <sup>3</sup> /min 20m 7.5kW	
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 大草浄化センター主要機器一覧表

設備名称	項目		規格・性能
ポンプ設備	流入ポンプ		$\phi 80\text{mm} \times 1.1\text{m}^3/\text{min} \times 4\text{m} \times 2\text{台}$ (1,584 m <sup>3</sup> /日 ×2)
	除塵設備	方式	円筒スクリーンしき脱水装置
		能力	2.3 m <sup>3</sup> /min (3,312 m <sup>3</sup> /日)
沈砂池設備	寸法		(なし)
	容量		(なし)
	揚砂設備		(なし)
反応槽設備	現有最大処理能力		466 m <sup>3</sup> /日
	計画最大処理能力		466 m <sup>3</sup> /日
	ディッチ水路		幅4.0m×長40.8m×深3.0m×1池
	計画滞留時間		27.2 h
	曝気機		スクリュー型ローター(嫌気好気両用)1,730 rpm、4.5 kW ×2台
	酸素供給能力		7.32kg O <sub>2</sub> /hr×2
最終沈殿池設備	寸法		$\phi 9.0\text{ m} \times 3.0\text{ m} \times 1\text{池}$
	容積(表面積)		192 m <sup>3</sup> ×1池 (64 m <sup>2</sup> ×1)
	計画滞留時間		6.5 h
	汚泥掻寄機		中央駆動チェーン吊下式
	スカムスキマー		ボックススキマー
	返送汚泥ポンプ		$\phi 80\text{mm} \times 0.35\text{m}^3/\text{min} \times 7\text{m} \times 2\text{台}$ (504 m <sup>3</sup> /日 ×2)
	容量		(なし)
塩素混和池設備	寸法		幅1.0 m×長12 m×深0.7 m
	容量		8.4 m <sup>3</sup>
	計画滞留時間		26 min
	消毒設備		固形塩素剤接触装置
	使用薬剤		固形塩素剤
汚泥処理設備	汚泥濃縮槽	寸法	$\phi 2.5\text{ m} \times 2.5\text{ m} \times 3.8\text{m} \times 1\text{槽}$
		容量	18 m <sup>3</sup>
		掻寄機	0.2kW
	濃縮汚泥引抜ポンプ		$\phi 80\text{mm} \times 0.18\text{m}^3/\text{min} \times 10\text{m} \times 1\text{台}$ (288 m <sup>3</sup> /日 ×1)2.2kW
	汚泥貯留槽	寸法	縦 2.5m×横 2.5m×深 2.7m
		容量	27m <sup>3</sup>
		攪拌機	(なし)
	汚泥供給ポンプ		$\phi 80\text{mm} \times 0.3\text{m}^3/\text{min} \times 8\text{m} \times 1\text{台}$ (432 m <sup>3</sup> /日 ×1)
	返流水ポンプ		$\phi 80\text{mm} \times 0.2\text{m}^3/\text{min} \times 8\text{m} \times 2\text{台}$ (288 m <sup>3</sup> /日 ×2)
	薬液供給ポンプ		なし
	脱水機	方式	移動脱水車
		能力	100~150kgDS/h
	ケーキホッパ容量		(なし)
搬出形態		脱水ケーキ	
洗浄水ポンプ		$\phi 50 \times 0.15\text{m}^3/\text{min} \times 8\text{m} \times 1\text{台}$	
脱臭設備	方式	立型上向流吸着方式	
	能力	0.18m <sup>3</sup> /min×3	
自家発設備	方式	ディーゼル式	
	能力	45 kVA	
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 片桐浄化センター主要機器一覧表

設備名称	項目		規格・性能
ポンプ設備	流入ポンプ		なし
	除塵設備	方式	スカラベ 破砕付、流入検知
		能力	3.0 m <sup>3</sup> /min (4,320m <sup>3</sup> /日)
沈砂池設備	寸法		(なし)
	容量		(なし)
	揚砂設備		(なし)
反応槽設備	現有最大処理能力		900m <sup>3</sup> /日
	計画最大処理能力		900m <sup>3</sup> /日
	ディッチ水路		幅5.4m×長55.6m×深3.0m×1
	計画滞留時間		27.2 h
	曝気機		スクリュウ型ローター(嫌気好気両用)895m <sup>3</sup> /日 1,730 rpm、4.5 kW ×4台
	酸素供給能力		243kg O <sub>2</sub> /日
最終沈殿池設備	寸法		φ 12.0m×3.0 m×1池
	容積(表面積)		340 m <sup>3</sup> ×1池 (113m <sup>2</sup> ×1)
	計画滞留時間		9.0 h
	汚泥掻寄機		中央駆動チェーン吊下式 2.1m/min
	スカムスキマー		パイプスキマー
	汚泥ポンプ		φ 80mm×0.65m <sup>3</sup> /min×4m×2台
	容量		(なし)
塩素混和池設備	寸法		幅1.0 m×長13.4m×深0.7 m
	容量		9.38m <sup>3</sup>
	計画滞留時間		15.0min
	消毒設備		固形塩素剤接触装置
	使用薬剤		固形塩素剤
汚泥処理設備	汚泥濃縮槽	寸法	φ 2.5 m×2.5 m×2.2m×1槽
		容量	18.7 m <sup>3</sup>
		掻寄機	0.4kW 速度2.2m/min
	濃縮汚泥引抜ポンプ		φ 65mm×0.1m <sup>3</sup> /min×10m×1台 (240m <sup>3</sup> /日 ×1)、1.5kW
	汚泥貯留槽	寸法	縦 2.5m×横 2.5m×深 2.1 m×2槽
		容量	26.3m <sup>3</sup>
		攪拌機	1.1kW×2台
	汚泥供給ポンプ		φ 80mm×0.3m <sup>3</sup> /min×8m×1台 (432 m <sup>3</sup> /日 ×1)
	返流水ポンプ		φ 80mm×0.5m <sup>3</sup> /min×8m×2台 (288 m <sup>3</sup> /日 ×2)
	薬液供給ポンプ		なし
	脱水機	方式	移動脱水車
		能力	100~150kgDS/h
	ケーキホッパ容量		(なし)
搬出形態		脱水ケーキ	
洗浄水ポンプ		不明	
脱臭設備	方式	立型上向流吸着方式	
	能力	0.84m <sup>3</sup> /min×3	
自家発設備	方式	(なし)	
	能力	(なし)	
給水設備	方式	圧力タンク式自動給水装置	
	能力	φ 40mm×0.2m <sup>3</sup> /min×20m×2.2kW	
雑用水設備	方式	深井戸用水中ポンプ	
	能力	φ 25mm×0.015m <sup>3</sup> /15m×1×0.6kW	
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 宮田アクアランド主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
ポンプ設備	流入ポンプ	$\phi 150 \text{ mm} \times 1.7 \text{ m}^3/\text{min} \times 9.5 \text{ m} \times 2 \text{ 台}$ (2,448 $\text{m}^3/\text{日} \times 2$ )	
	除塵設備	方式	細目スクリーン、細目自動除塵機
		能力	$\phi 780 \text{ mm}$ 目幅 5.0mm
	エンジンポンプ	$\phi 100\text{mm} \times 1.35\text{m}^3/\text{min}$	
沈砂池設備	寸法	幅2.8 m × 長1.5 m × 深1.5 m	
	容量	6.3 $\text{m}^3$	
反応槽設備	現有最大処理能力	3,750 $\text{m}^3/\text{日}$	
	計画最大処理能力	3,750 $\text{m}^3/\text{日}$	
	水路	1系	(幅 4.0 m × 長 58 m × 深 2.5 m) × 2池
		2,3系	(幅 4.0 m × 長 104 m × 深 2.5 m × 1) × 2池
	計画滞留時間	1系 26.5 h, 2,3系 27.0 h	
	曝気機	1系	(横軸型ローター max.70 rpm、7.5 kW × 2台) × 2台
		2,3系	(スクルー型ローター(嫌気好気両用) 1,730 rpm、4.5 kW × 4台) × 2台
	酸素供給能力	1系 5.5 kg $\text{O}_2/\text{hr} \times 4$ 、2系 7.3 kg $\text{O}_2/\text{hr} \times 4$ 、3系 7.3 kg $\text{O}_2/\text{hr} \times 4$	
余剰汚泥ポンプ	1,2,3系 水中汚泥ポンプ $\phi 80$ 、0.2 $\text{m}^3/\text{分} \times 13\text{m}$ 、2.2kW × 4 ※R2/12より追加		
最終沈殿池設備	寸法	1系	( $\phi 9.0 \text{ m} \times 3.0 \text{ m}$ ) × 2池
		2,3系	2系( $\phi 15.0 \text{ m} \times 3.5 \text{ m} \times 1$ 池) 3系( $\phi 14.5\text{m} \times 3.5\text{m} \times 1$ 池)
	容積 (表面積)	1系	191 $\text{m}^3 \times 2$ (64 $\text{m}^2 \times 2$ )
		2,3系	2系(618 $\text{m}^3 \times 1$ (177 $\text{m}^2 \times 1$ )) 3系(578 $\text{m}^3 \times 1$ (165 $\text{m}^2 \times 1$ ))
	計画滞留時間	1系 7.5 h, 2系 7.5 h, 3系 7.5h	
	汚泥掻寄機	1系	2.0 m/min
		2,3系	2.1 m/min
	スカム スキマー	1系	ナライプレート
		2,3系	(電動式パイプスキマー $\phi 300 \text{ mm} \times 6,170 \text{ mm}$ ) × 2基
	返送汚泥 ポンプ	1,2,3系	( $\phi 100 \text{ mm} \times 1.0 \text{ m}^3/\text{min} \times 6 \text{ m}$ ) × 6台
余剰汚泥 ポンプ	1,2,3系	( $\phi 100 \text{ mm} \times 0.5 \text{ m}^3/\text{min} \times 5 \text{ m}$ ) × 3台 ※R2/12より使用停止	
塩素混和池設備	寸法	幅 2.0 m × 長 20 m × 深 1.0 m	
	容量	40 $\text{m}^3$	
	計画滞留時間	15 min	
	消毒設備	固形塩素剤接触装置	
	使用薬剤	固形塩素剤	
汚泥処理設備	返流水ポンプ	$\phi 100 \text{ mm} \times 1.0 \text{ m}^3/\text{min} \times 10 \text{ m} \times 2 \text{ 台}$ (1,440 $\text{m}^3/\text{日} \times 2$ )	
	脱水機	方式	多重板型スクループレス
		能力	7kg-ds/本・h $\phi 200 \times 4$ 本
	ケーキホツパ容量	4.0 $\text{m}^3$	
	搬出形態	脱水ケーキ	
給水設備	上水給水装置	圧力タンク付給水装置 700L/min 30m 3.7kW × 2	
	雑用水給水装置	圧力タンク付給水装置 1.8~2.5kgf/cm <sup>3</sup>	
脱臭設備	方式	活性炭吸着式	
	能力	20 $\text{m}^3/\text{min}$ (28,800 $\text{m}^3/\text{日}$ )	

その他附帯設備一式

(第5条関係)

## 富士見処理場主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
沈砂池設備	流入ゲート	400mm×400mm 水深1.8m	
	除塵設備	方式	細目自動除塵機、バイパススクリーン
能力		φ800mm目幅5mm、目幅50mm	
反応槽設備	現有最大処理能力	2,700 m <sup>3</sup> /日	
	計画最大処理能力	3,600 m <sup>3</sup> /日	
	水路	(幅 4.0 m ×長77 m ×深3.0 m) ×3池	
	計画滞留時間	24hr	
	曝気機	縦軸型ローター 11kW ×6台	
	酸素供給能力	10.6kgO <sub>2</sub> /hr×6	
最終沈殿池設備	寸法	(φ11.0m ×3.5m) ×3池	
	容積(表面積)	332.4m <sup>3</sup> ×3 (95m <sup>2</sup> ×3)	
	計画滞留時間	14.5h	
	汚泥掻寄機	2.16m/min	
	スカムスキマー		
	返送汚泥ポンプ	1・2系 φ150mm×0.62m <sup>3</sup> /min×5.2m、1.5kW×4(VVVF) 返送汚泥・余剰汚泥切替弁付 3系 φ100mm×0.62m <sup>3</sup> /min×5.2m、1.5kW×2 返送汚泥・余剰汚泥切替弁付	
塩素混和池設備	寸法	幅1.0m×長21.2 m×深1.8m	
	容量	38m <sup>3</sup>	
	計画滞留時間	15 min	
	消毒設備	固形塩素剤接触装置	
	使用薬剤	固形塩素剤	
汚泥処理設備	汚泥濃縮槽	寸法	φ3.5m×3.0m×1槽
		容量	28.8m <sup>3</sup>
		掻寄機	2~3m/min
	濃縮汚泥引抜ポンプ		φ100mm×0.5m <sup>3</sup> /min×4m×2台
	汚泥貯留槽	寸法	縦3.5m×横3.5m×深3.5m
		容量	42m <sup>3</sup>
		攪拌機	ルーツプロワ φ32×0.35m <sup>3</sup> ×39kPa×1.5kW×2台
	汚泥供給ポンプ		φ65mm×1.2~7.5m <sup>3</sup> /hr 3.7kW×2台
	薬品供給ポンプ		φ32mm×2~11.7L/min 0.75kW×2台
	脱水機	方式	遠心脱水機
		能力	5.0m <sup>3</sup> /hr
	ケーキホッパ容量		5m <sup>3</sup>
搬出形態		脱水ケーキ	
給水設備	溶解水給水装置	50L/min×15m 0.75kW	
	雑用水給水装置	圧力タンク付給水装置 350L/min×30m 3.7kW	
脱臭設備	方式	活性炭吸着式	
	能力	22m <sup>3</sup> /min	
自家発設備	能力	50kVA(40kW)	
監視非常通報装置		インターネット監視システム	
その他附帯設備一式			

(第5条関係)

## 境処理場主要機器一覧表

設備名称	項目	規格・性能	
沈砂池 ポンプ設備	流入ゲート	400mm×400mm 水深3.2m	
	流入ポンプ	φ 80mm×0.8m <sup>3</sup> /min×10m×3台	
	除塵設備	方式	細目自動除塵機、バイパススクリーン
		能力	φ 600mm 目幅20mm、目幅20mm
	ポンプ井連絡ゲート	500mm×500mm 水深4.1m	
反応槽設備	現有最大処理能力	1,300m <sup>3</sup> /日	
	計画最大処理能力	1,300m <sup>3</sup> /日	
	水路	(幅 4.0m×長53 m×深3.0 m) ×2池	
	計画滞留時間	24hr	
	曝気機	縦軸型ローター 7.5 kW×4台	
	酸素供給能力	8.5kg O <sub>2</sub> /hr ×4	
最終沈殿池設備	寸法	(φ 11.0m×3.5 m)×2池	
	容積(表面積)	332.4m <sup>3</sup> ×2 (95 m <sup>2</sup> ×2)	
	計画滞留時間	10.6h	
	汚泥掻寄機	2.5m/min	
	スカムスキマー		
	返送汚泥ポンプ	1系	φ 100mm、0.6m <sup>3</sup> /min×9m、2.2kW×2 返送汚泥・余剰汚泥切替弁付
		2系	φ 80mm、0.5m <sup>3</sup> /min×6m、1.5kW×2 返送汚泥・余剰汚泥切替弁付
塩素混和池設備	寸法	幅 1.0m×長8.0 m ×深2.0m	
	容量	16m <sup>3</sup>	
	計画滞留時間	15 min	
	消毒設備	固形塩素剤接触装置	
	使用薬剤	固形塩素剤	
汚泥処理設備	汚泥濃縮槽	寸法	φ 2.5m×3.0m×1槽
		容量	15m <sup>3</sup>
		掻寄機	2.5m/min
	濃縮汚泥引抜ポンプ		φ 75mm×0.16m <sup>3</sup> /min×4m、2.2kW×2台
	汚泥濃縮機		ハニカム濃縮機 5.0m <sup>3</sup> /h
	濃縮機供給汚泥ポンプ		φ 65mm×1.0~6.8m <sup>3</sup> /hr 1.5kW
	薬品供給ポンプ		φ 10mm×0.48~3.28L/min 0.2kW
	汚泥貯留槽	寸法	縦2.5m×横2.5m×深4.0m
		容量	25m <sup>3</sup>
		攪拌機	2枚パドル縦型ミキサー φ 1000mm 3.7kW
搬出形態		濃縮汚泥	
給水設備	上水給水装置	圧力タンク付給水装置 100L/min 40m 3.7kW	
	雑用水給水装置	圧力タンク付給水装置 150L/min 40m 3.7kW	
脱臭設備	方式	活性炭吸着式	
	能力	14m <sup>3</sup> /min	
自家発設備	能力	50kVA (40kW)	
監視非常通報装置		インターネット監視システム	
その他附帯設備一式			